

平成28年度

入学者選抜に関する要項



社会情報学部は新学科を設置計画申請中であり、平成28年4月開設を予定しています。掲載内容は現時点で計画中のものであり、今後変更される可能性があります。詳しくは、群馬大学ホームページを御確認ください。

入 試 情 報

■ 群馬大学ホームページ <http://www.gunma-u.ac.jp/>

「入試案内」において、以下の情報等をお知らせしています。

- 学生募集要項
- 進学相談会・オープンキャンパス等各種イベント案内
- 入試実施状況、入試統計資料
- 入学時の経費（入学科・授業料等）・奨学金情報
- 過去の入試問題
- 資料請求方法

入学試験に関する問合せ先

受付時間 8時30分から12時、13時から17時（土・日曜日、祝休日、年末年始を除く）

本学は主体的に学ぶ姿勢を持つ学生を求めています。問合せは、やむを得ない場合を除き、志願者本人が行ってください。

■ 本要項及び入学試験全般に関するお問合せ

学務部学生受入課

電話 027-220-7150、7151、7152 / FAX 027-220-7155 〒371-8510 前橋市荒牧町4-2

■ 各学部入試担当係

○教育学部（教務係）

電話 027-220-7223 〒371-8510 前橋市荒牧町4-2

○社会情報学部（教務係）

電話 027-220-7404 〒371-8510 前橋市荒牧町4-2

○医学部（昭和地区事務部学務課入学試験係）

電話（医学科）027-220-8910 〒371-8511 前橋市昭和町3-39-22
（保健学科）027-220-8909

○理工学部（学務係）

電話 0277-30-1037 〒376-8515 桐生市天神町1-5-1

LINEとTwitterから入試情報をリアルタイムでお届けします。



http://lineat.jp/gunma_uni_ad



http://twitter.com/gunma_uni_ad

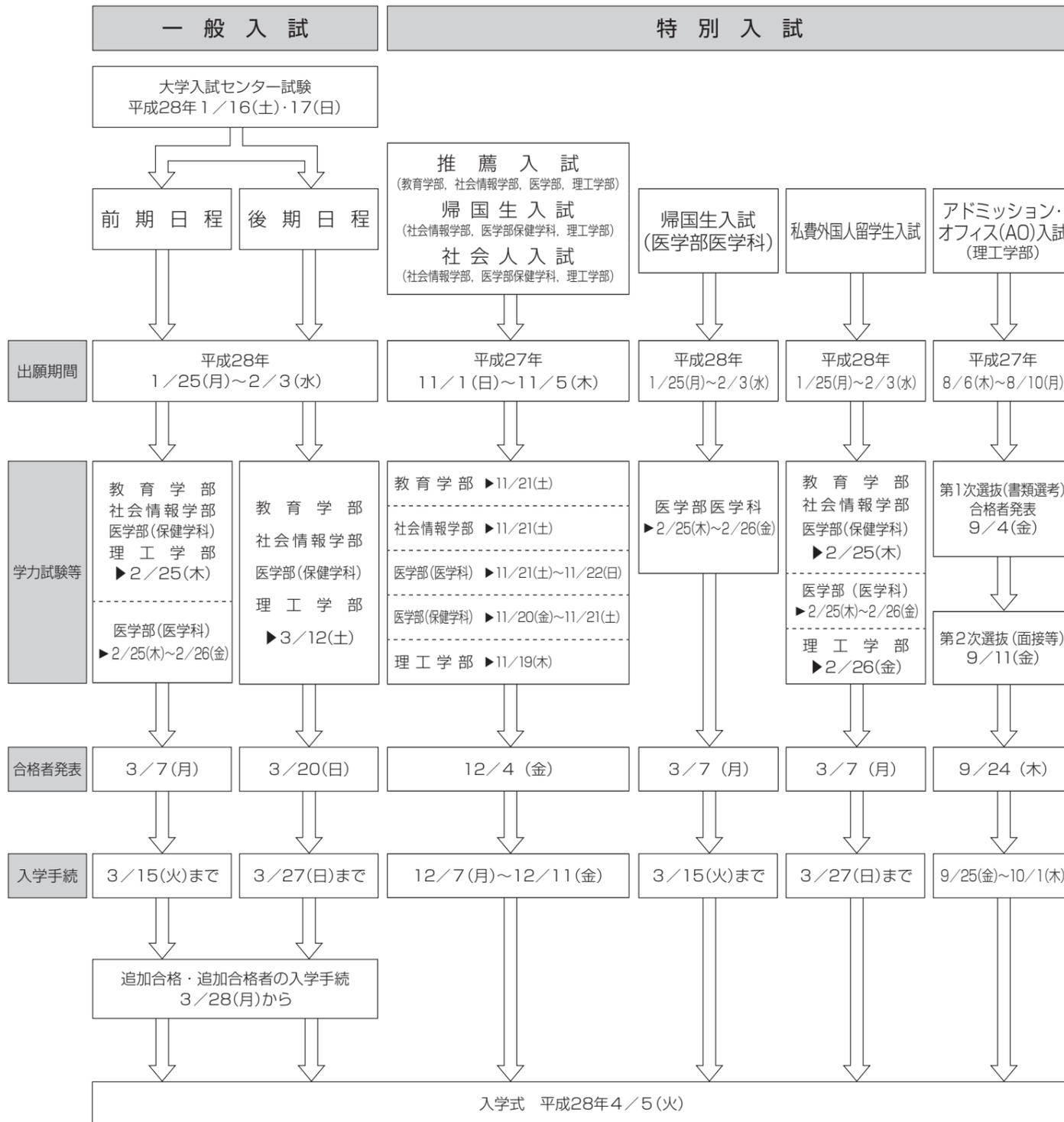
群馬大学入学者選抜日程の概要

目 次

入学者選抜に関する要項

群馬大学の教育ポリシー	2
各学部の教育ポリシー	3
1. 学部・学科・課程・専攻及び募集人員	8
2. 過年度の大学入試センター試験成績	9
3. 複数受験について	9
4. 出願資格	9
5. 出願期間	10
6. 入学者選抜方法	10
別表1 平成28年度群馬大学入学者選抜方法等（一般入試）	12
別表2 平成28年度群馬大学入学者選抜方法等（特別入試）	14
別表3 平成28年度群馬大学入学者選抜（一般入試）の実施教科・科目等について	16
〔別紙〕音楽・美術・保健体育実技試験内容	34
7. 特別入試	36
(1) アドミッション・オフィス（AO）入試	36
(2) 推薦入試	37
(3) 帰国生入試	49
(4) 社会人入試	53
8. 私費外国人留学生入試	56
9. 障害等のある入学志願者との事前相談について	58
10. 入学資格審査について	58
11. 注意事項	58
12. 入試過去問題の利用について	58
13. 募集要項の発表時期及び請求方法	59
14. 平成28年度群馬大学一般入試の志願状況等の発表	60

本要項は、本学の入学者選抜に関する基本的な事項をまとめたものです。入学者選抜の詳細については、各募集要項を御確認ください。



本学では、これらの入学者選抜のほか、編入学試験を実施します。

詳細については、裏表紙「入学試験に関する問合せ先」の各学部入試担当係へ問合せください。

必ずお読みください

群馬大学の教育ポリシー

○入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

群馬大学のモットーは「Act Locally, Think Globally（地域に根ざし、地球規模で考える）」です。この理念に共感し、次のような能力と意欲を持つ学生を求めています。

- 1 大学において、教養と専門知識を習得するために必要な基礎学力とコミュニケーション能力を持つ人
- 2 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持つ人
- 3 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む人
- 4 高い志と豊かな発想力を持ち、未来を切り開く夢と情熱を持つ人
- 5 地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップを持つ人

○教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

全学的な協体制の下、教養教育と専門教育の融合を図り、幅広く深い教養、豊かな知性と感性、総合的な判断力、専門分野の基礎的能力を育成するため、学生の潜在能力を最大限引き出せる教育課程を編成し、実施します。

○学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

自然との共生を基盤とした豊かな人間性と広い視野を持ち、社会から信頼される国内外で活躍できる人材で、所定の年限在学し、かつ所定の単位を修得した者に、学位を授与します。

必ずお読みください

各学部の教育ポリシー

教 育 学 部

○入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

- 1 教職を目指す明確な意志と情熱を有する人
- 2 児童・生徒の成長に関わることに喜びを感じられる人
- 3 周囲とのコミュニケーション能力や協調性を備える人
- 4 諸課題の解決に向けて粘り強く努力できる人
- 5 系・専攻に関する事項に関心を持ち、教職を目指すために必要な基礎学力を有する人

～高等学校等で履修すべき科目・取得が望ましい資格等～

入学試験で選択した科目に限らず幅広く学習し、系・専攻の学修に必要な基礎学力を有することが望ましい。
さらに、
数学・理科・技術専攻では、数学Ⅲを履修しておくことが望ましい。
英語専攻では、英検2級レベル以上の力を付けておくことが望ましい。

○教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

- 1 学校教員に求められる幅広い教養を培う教育
- 2 教育にかかわる様々な理論に裏付けられた、現実の教育問題を考える力を養う教育
- 3 教科についての専門的知識を高める教育
- 4 教科指導法など、学校教員として必要となる知識・技術を培う教育
- 5 教育実習などの体験的学習を通して、実践的指導力を養う教育
- 6 卒業研究を通して、思考力や表現力、課題解決能力、創造的な探求能力を養う教育

○学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

所定の年限在学し、かつ所定の単位を修得した、次のような者に学士の学位を授与します。

- 1 優れた人間性と豊かな教養を有している者
- 2 各教科の内容について、深い認識を有している者
- 3 各教科について、実践的な指導力を有している者
- 4 現代の社会における教育の意義、学校の役割、教育に関する諸問題について、確かな見識を有している者
- 5 子どもの成長・発達とそれを支える大人の役割について、十分に理解している者
- 6 子ども、親、同僚などとコミュニケーションをとることができる者

必ずお読みください

社会情報学部

○入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

- 1 高度情報社会の在り方や望ましい発展に関心がある人
- 2 科学的な考え方や分析の手法を身に付けようとする人
- 3 自分の考えを相手に伝える技術を身に付けようとする人

～高等学校等で履修すべき科目・取得が望ましい資格等～

入学試験で選択した科目に限らず幅広く学習することが望ましい。国語や数学、英語、地理歴史、公民等を学習し、さらに広く社会の出来事に関心を持つようにしておくことが望ましい。

○教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

- 1 大学での学修に必要な基礎的な学力や学修の方法・技術を習得させ、多角的な視点から問題を探求する姿勢を身に付けさせる教育
- 2 専門教育を支える十分な社会情報学的な思考方法を醸成する教育
- 3 情報リテラシーやデータ収集・分析能力、外国語運用能力等を養成する教育
- 4 高度情報社会の特質を専門的・多角的に読み解く力や問題解決能力を養成する教育
- 5 自ら設定したテーマに沿って調査・研究活動を進め、それを論文や提案として結実させる能力を養成する教育

○学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

所定の年限在学し、かつ所定の単位を修得した、次のような者に学士の学位を授与します。

- 1 社会で情報が生産・流通・加工・蓄積・活用される一連のプロセス（社会情報過程）に関する知識を有し、課題を理解できる者
- 2 情報社会に生起する組織や地域社会の諸課題に関心を持ち、その解決に意欲を持つ者
- 3 科学的・批判的に思考・判断する能力を有する者
- 4 実践的な情報処理能力と課題に即したデータの収集・分析能力を有し、適切な考察を行うことができる者
- 5 自ら得た知見を分かりやすく説明・伝達する能力を備えた者

必ずお読みください

医学部医学科

○入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

- 1 医師としての資質、特に医師としてふさわしい人格と倫理性、コミュニケーション能力、人間に対する豊かな感受性と奉仕の精神を備えている人
- 2 本学科の教育内容を理解するために必要な総合的基礎学力を十分に備えている人
- 3 医学研究、医学教育、医療行政、社会貢献活動を指向する人
- 4 地域医療に貢献することへの志と強い信念を持っている人

～高等学校等で履修すべき科目・取得が望ましい資格等～

数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B）、理科（物理、化学、生物）、英語について履修していることが望ましい。

○教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

- 1 医師としての倫理観・責任観及びチームのリーダーとしてふさわしい人格を身に付けさせる教育
- 2 人体の構造と機能、ヒトと環境や微生物とのかかわり、薬物の作用機構など、医学の基礎を学ばせる教育
- 3 心身の異常及びその原因・病態並びに予防・診断・治療など、医師や医学研究者として必要な知識を修得させる教育
- 4 問題解決能力やリサーチマインドを涵養するとともに、高度な臨床・研究技能を修得させる教育

○学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

所定の年限在学し、かつ所定の単位を修得した、次のような者に学士の学位を授与します。

- 1 高い倫理観と責任感を有し、医学・医療チームのリーダーとして信頼される人格を身に付けた者
- 2 医師、医学研究者、医学教育者又は医療行政担当者となるために必要な知識を身に付けるとともに、新たな課題に対応できる論理的思考力を修得した者
- 3 広い医学知識に裏打ちされた高い臨床・研究技能を修得した者

必ずお読みください

医学部保健学科

○入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

- 1 本学科での学習を通して科学的な思考力と幅広い知識を培い、豊かな見識を身に付け、人間の尊厳を尊重できる人
- 2 柔軟な発想、みずみずしい感性、高い意欲を持つ人
- 3 看護師・保健師・助産師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士となることを通じて、高度化・専門化する保健医療の担い手となることを望む人
- 4 医療技術の学問の進歩に関心を有し、その学習や発展に向けた熱意と行動力を持つ人
- 5 チーム医療等の保健医療の現場において、多くの人々とコミュニケーションが取れる人
- 6 国内外の場において多様な人々とともに学び助け合い、地域や国際社会で活動できる人

～高等学校等で履修すべき科目・取得が望ましい資格等～

大学入試センター試験で本学科が課す5教科7科目の基礎的な学習を重視してほしい。

○教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

- 1 全人的医療の担い手としての人間性の涵養と、専攻分野で必要な基礎力の育成を図る教育
- 2 専門教育では基礎から臨床に亘る階層的知識の積み上げを図るとともに、先端の保健医療の学習にも配慮する教育
- 3 保健医療の担い手としての主体的思考・行動力と豊かな感性を持つ人材育成を図る教育
- 4 チーム医療の担い手としての意識と、そこで必要な能力の育成を図る教育
- 5 グローバル化した保健医療の諸課題に対応できる国際的視野を持つ人材育成を図る教育

○学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

所定の年限在学し、かつ所定の単位を修得した、次のような者に学士の学位を授与します。

- 1 保健医療の専門職職業人となるために必要な知識と技術を備え、人間の尊厳を尊ぶ心を持つ者
- 2 保健医療の諸課題に対し、多面的視点からの柔軟な思考、的確な判断と対応ができる者
- 3 チーム医療を担う自覚を有し、関係する人々との相互理解と円滑な協働関係が築ける者
- 4 保健医療の担い手として、将来に向け自らを向上させてゆく意欲と自己開発力を持つ者

必ずお読みください

理工学部

○入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

- 1 誰も行ったことのない新しいことに挑戦することが好きで、失敗をおそれない人
- 2 自らの能力向上を目指し、そのための労を惜しまない人
- 3 自然現象や科学技術などに興味があり、それらを通じて自然科学の原理原則を最後まで追究したい人
- 4 理学的基盤（数学、物理学、化学、生物学など）を理解し、さらにこれらを基に新理論・新技術の開発にチャレンジしたい人
- 5 理工学分野で国際的な活躍をめざす人

～高等学校等で履修すべき科目・取得が望ましい資格等～

数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む）、化学（化学基礎を含む）、生物（生物基礎を含む）（あるいは同等の科目）のうち2つ以上及び英語を履修していることが望ましい。

○教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

世界の知的基盤を担う創造性豊かな人材を育成するため、学生と教員との緊密なつながりを基本として、次のような教育を行います。

- 1 理学に根ざした俯瞰的な物の見方、考え方を身に付け、工学に根ざした実践的・独創的な課題解決能力を養う理工学教育
- 2 国際的な水準を満たし、かつ各教員の特長を活かした教育
- 3 個人の発想や知的好奇心を尊重し、未知の分野に挑戦する活力と創造性を育む教育
- 4 国際コミュニケーション能力を備え、世界を舞台に研究者・技術者として活躍できる人材を育成する教育

○学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

所定の年限在学し、かつ所定の単位を修得した、次のような者に学士の学位を授与します。

- 1 自然や社会の理解に関する俯瞰的・論理的な見方や考え方を修得した者
- 2 理工学に関する基礎および専門的な知識を修得した者
- 3 社会の中で専門分野の知識を活かし、未知なるものの探求、新たなものの創生や諸課題の解決に取り組める者
- 4 他者の意見を理解し、自らの意見を伝え、外国の人ともコミュニケーションができる素養をもつ者

1. 学部・学科・課程・専攻及び募集人員

学部	学科・課程・専攻	募集人員							総計	備考
		特別入試				一般入試(分離・分割方式)				
		アドミッション・オフィス(AO)入試	推薦入試 (一般 (専門学科・総合学科を含む) 専門学科・総合学科)	帰国生	社会人	前期日程	後期日程			
学校教育教員養成課程	文化・社会系							(65)	※教育人間科学系の募集人員については下記のとおりです。 (1)前期日程16名については、おおむね教育専攻3名 教育心理専攻3名 障害児教育専攻10名を目安とします。 (2)後期日程8名については、おおむね教育専攻3名 教育心理専攻2名 障害児教育専攻3名を目安とします。	
	国語専攻	-	6	-	-	-	15	3		24
	社会専攻	-	5	-	-	-	17	4		26
	英語専攻	-	-	-	-	-	12	3		15
	自然・情報系							(62)		
	数学専攻	-	5	-	-	-	18	2		25
	理科専攻	-	4	-	-	-	17	5		26
	技術専攻	-	-	-	-	-	7	4		11
	芸術・表現系							(30)		
	音楽専攻	-	2	-	-	-	9	4		15
	美術専攻	-	2	-	-	-	9	4		15
	生活・健康系							(35)		
	家政専攻	-	-	-	-	-	11	4		15
	保健体育専攻	-	5	-	-	-	12	3		20
教育人間科学系							(28)			
教育専攻	-	-	-	-	-	16	8	28		
教育心理専攻	-	-	-	-	-	16	8	28		
障害児教育専攻	-	4	-	-	-	16	8	28		
計	-	33	-	-	-	143	44	220		
社会情報学部	社会情報学科	-	28	-	若干名	若干名	56	16	100	
	計	-	28	-	若干名	若干名	56	16	100	
医学部	医学科	-	35	-	若干名	-	73	-	108	
	看護学専攻	-	30	-	若干名	若干名	33	17	80	
	検査技術科学専攻	-	9	-	若干名	若干名	22	9	40	
	理学療法専攻	-	8	-	若干名	若干名	8	4	20	
	作業療法学専攻	-	8	-	若干名	若干名	8	4	20	
	小計	-	55	-	若干名	若干名	71	34	160	
計	-	90	-	若干名	若干名	144	34	268		
理工学部	化学・生物化学科	2	60	-	若干名	-	86	12	160	
	機械知能システム理工学科	4	33	-	若干名	-	60	13	110	
	環境創理工学	2	28	-	若干名	-	50	10	90	
	電子情報理工学科	5	35	-	若干名	-	70	10	120	
	総合理工学科(フレックス制)	-	-	-	-	若干名	27	3	30	
計	13	156	-	若干名	若干名	293	48	510		
合計	13	307	-	若干名	若干名	636	142	1,098		

- (注) 1 アドミッション・オフィス(AO)入試の入学手続者が募集人員に満たない場合は、原則として、推薦入試の募集人員に、この満たない人数を加えます。
 2 医学部医学科の推薦入試の募集人員35名には地域医療枠7名程度、前期日程の募集人員73名には地域医療枠9名程度を含みます。
 3 推薦入試の入学手続者が募集人員に満たない場合は、原則として、前期日程の募集人員に、この満たない人数を加えます。
 4 前期日程の募集人員には、社会情報学部、医学部及び理工学部の帰国生入試及び社会人入試の募集人員若干名を含みます。
 5 理工学部総合理工学科(フレックス制)では、夜間開講科目の履修のみで卒業することができます。また、夜間開講の必修・選択科目と昼間開講の選択科目を履修して卒業することもできます。

2. 過年度の大学入試センター試験成績

過年度の大学入試センター試験の成績は、利用しません。

3. 複数受験について

- (1) 国立大学・学部への出願

志願者は、一般入試においては、「前期日程」、「後期日程」からそれぞれ1つの計2つの大学・学部に出願することができます。

※公立大学においては、協会ホームページ(<http://www.kodaikyo.org/>)参照

- (2) 学内併願

本学では、前期・後期の学内併願を各学部ともに認めます。ただし、特別入試については、同一日程の特別入試を併せて受験することはできません。

4. 出願資格

- (1) 一般入試については、次のいずれかに該当し、本学が指定する平成28年度大学入試センター試験の教科・科目を受験した者としてします。

- ① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は平成28年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は平成28年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定に基づき、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は平成28年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 ※ 学校教育法施行規則第150条第7号により本学への出願資格を得ようとする者は、「10. 入学資格審査について」(58ページ)を参照してください。

参考 学校教育法施行規則(抜粋)

第150条 学校教育法第90条第1項の規定により、大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 1 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 2 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 3 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 4 文部科学大臣の指定した者
- 5 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定(以下「旧検定」という。)に合格した者を含む。)
- 6 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの
- 7 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

- (2) アドミッション・オフィス(AO)入試については、別に定める出願資格及び出願要件(36ページ)とし、大学入試センター試験は課しません。

- (3) 推薦入試については、次の各号のいずれかに該当する者とし、大学入試センター試験は課しません。なお、出願要件(37～48ページ)は別に定めます。

- ① 平成28年3月に高等学校又は中等教育学校を卒業見込みの者(平成27年度中に卒業した者及び卒業見込みの者を含む。)
- ② 通常の課程による12年の学校教育を平成28年3月修了見込みの者(平成27年度中に修了した者及び修了見込みの者を含む。)
- ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成27年度中に修了又は修了見込みの者

- (4) 帰国生、社会人及び私費外国人留学生入試については、別に定める出願要件(49～57ページ)とし、大学入試センター試験は課しません。

- (5) 平成21年3月に告示された新指導要領が全面実施されましたが、大学入試センター試験「数学」の「工業数理基礎」に関しては、旧教育課程履修者に対して経過措置を講じることとし、旧教育課程履修者のうち希望する者が、この経過措置により受験できるものとします。

新教育課程履修者	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に平成25年4月に入学し、平成28年3月卒業見込みの者 ②中等教育学校の後期課程に平成25年4月に進級し、平成28年3月卒業見込みの者
旧教育課程履修者	上記以外の者

(注)1 「新教育課程」とは、平成25年4月1日から適用された高等学校学習指導要領（平成21年文部科学省告示第34号）に基づく教育課程及び平成21年3月9日文部科学省告示第38号の特例により定められた教育課程をいい、「旧教育課程」とは、従前の高等学校学習指導要領に基づく教育課程をいう。

- 2 新教育課程履修者は、旧教育課程により出題する「数学」の「工業数理基礎」を解答できません。

5. 出願期間

- (1) 特別入試（アドミッション・オフィス(AO)入試) 平成27年8月6日(木)から8月10日(月)
- (2) 特別入試（推薦、帰国生（社会情報学部、医学部保健学科、理工学部）及び社会人入試）
平成27年11月1日(日)から11月5日(木)
- (3) 一般入試・私費外国人留学生入試・特別入試（帰国生（医学部医学科）） 平成28年1月25日(月)から2月3日(水)

6. 入学者選抜方法

各入試の選抜方法は次のとおりです。

- (1) 一般入試

大学入試センター試験及び個別学力検査等（本学の各学部・学科等が指定する学力試験、小論文、面接、実技試験等）の成績並びに調査書を総合して判定します。

- ① 各学部・学科等の入学者選抜方法等は、別表1（12・13ページ）を参照してください。
- ② 各学部・学科等の一般入試の実施教科・科目等は、別表3（16～33ページ）又は別紙〔音楽・美術・保健体育実技試験内容〕（34・35ページ）を参照してください。

別表3（16～33ページ）の教科・科目名等に使用してある次の表示は、それぞれカッコ内の語を表しています。

国（国語）、地歴（地理歴史）、世（世界史）、日（日本史）、現社（現代社会）、倫（倫理）、政経（政治・経済）、倫・政経（倫理、政治・経済）、数（数学）、簿（簿記・会計）、情報（情報関係基礎）、理（理科）、物基（物理基礎）、化基（化学基礎）、生基（生物基礎）、地基（地学基礎）、物（物理）、化（化学）、生（生物）、外（外国語）、英（英語）、独（ドイツ語）、仏（フランス語）、中（中国語）、韓（韓国語）、工（工業数理基礎）

- (2) 特別入試

別表2（14・15ページ）及び次の①～④のとおり参照してください。

- ① アドミッション・オフィス(AO)入試は、36ページを参照してください。
- ② 推薦入試は、37～48ページを参照してください。
- ③ 帰国生入試は、49～52ページを参照してください。
- ④ 社会人入試は、53～55ページを参照してください。
- (3) 私費外国人留学生入試は、56・57ページを参照してください。

「空白ページ」

別表1

平成28年度群馬大学入学者選抜方法等（一般入試）

(1/2)

学部・学科・専攻等	個別学力検査等										専門学科・総合学科卒業生入試	個別学力検査等の日程	備考 (欠員の補充の方法等)	
	学力試験を課する	実技試験等					2段階選抜							
		系共通問題を課する	実技試験を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	第1段階の選抜による合格者数		第2段階の選抜による合格者数					
							定員に対する倍率	その他						
文化・社会系 自然・情報系 芸術・表現系 生活・健康系 教育人間科学系	国語専攻	前期	×	○	×	×	○	×	実施しない	実施しない	前期日程 2月25日(木)	注参照		
	後期	×	×	×	○	×	×							
	社会専攻	前期	×	○	×	×	○	×						
	後期	×	×	×	○	×	×							
	英語専攻	前期	○	○	×	×	×	○						
	後期	×	×	×	○	×	×							
	数学専攻	前期	○	×	×	×	×	×						
	後期	×	○	×	×	×	×							
	理科専攻	前期	×	×	×	×	○	×						
	後期	×	○	×	×	×	×							
	技術専攻	前期	○	×	×	×	×	×						
	後期	×	○	×	×	×	×							
	音楽専攻	前期	○	○	○	×	×	×						
	後期	×	×	○	×	×	×							
	美術専攻	前期	×	○	○	×	×	×						
	後期	×	×	○	×	×	×							
家政専攻	前期	×	○	×	×	○	×							
後期	×	×	×	×	○	×								
保健体育専攻	前期	×	○	○	×	×	×							
後期	○	×	○	×	×	×								
教育専攻	前期	×	○	×	×	×	×							
後期	×	×	×	○	×	×								
教育心理専攻	前期	×	○	×	×	×	×							
後期	×	×	×	○	×	×								
障害児教育専攻	前期	×	○	×	×	×	×							
後期	×	×	×	○	×	×								

別表1

平成28年度群馬大学入学者選抜方法等（一般入試）

(2/2)

学部・学科・専攻等	個別学力検査等										専門学科・総合学科卒業生入試	個別学力検査等の日程	備考 (欠員の補充の方法等)		
	学力試験を課する	実技試験等					2段階選抜								
		実技試験を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	第1段階の選抜による合格者数		第2段階の選抜による合格者数							
						定員に対する倍率	その他								
社会情報学部	社会情報学科	前期	○	×	×	×	×	実施しない	実施しない	前期日程 2月25日(木)	注参照				
		後期	×	×	×	○	×								
医学部	医学科	前期	○	×	○	○	×	○	約3倍	実施しない	前期日程 2月25日(木) ~26日(金)	注参照			
		後期	実施しない												
	看護学専攻	前期	×	×	×	○	×	実施しない	実施しない				前期日程 2月25日(木)	注参照	
		後期	×	×	×	○	×								
	検査技術科学専攻	前期	×	×	×	○	×	実施しない	実施しない				後期日程 3月12日(土)	注参照	
		後期	×	×	×	○	×								
	理学療法学専攻	前期	×	×	×	○	×	実施しない	実施しない				前期日程 2月25日(木)	注参照	
		後期	×	×	×	○	×								
作業療法学専攻	前期	×	×	×	○	×	実施しない	実施しない	後期日程 3月12日(土)	注参照					
	後期	×	×	×	○	×									
理工学部	化学・生物化学科	前期	○	×	×	×	×	実施しない	実施しない	前期日程 2月25日(木)	注参照				
		後期	×	×	○	×	×								
	機械知能システム理工学科	前期	○	×	×	×	×					実施しない	実施しない	後期日程 3月12日(土)	注参照
		後期	×	×	○	×	×								
	環境創生理工学科	前期	○	×	×	×	×					実施しない	実施しない	前期日程 2月25日(木)	注参照
		後期	×	×	○	×	×								
電子情報理工学科	前期	○	×	×	×	×	実施しない	実施しない	後期日程 3月12日(土)	注参照					
	後期	×	×	○	×	×									
総合理工学科(フレックス制)	前期	○	×	×	×	×	実施しない	実施しない	前期日程 2月25日(木)	注参照					
	後期	×	×	○	×	×									

注1 入学手続期間終了後、入学定員に欠員が生じた場合には追加合格者の決定を行い、更に欠員が生じた場合は、欠員補充第2次募集を行う。

注2 一般入試学生募集要項の発表時期及び請求方法については、59・60ページを参照してください。

平成28年度群馬大学入学者選抜方法等（特別入試）

(1/2)

学部・学科・専攻等	選抜方法等	推薦入試 注1								推薦入試募集人員	アドミッション・オフィス(AO)入試 注2	帰国生・社会人等のための特別入試 注3			備考
		入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力試験を免除し調査書を主な資料として判定する										帰国生	中国引揚者等	社会人	
		個別学力検査等を免除し、大学入試センター試験を課する	個別学力検査等及び大学入試センター試験を免除する	実技試験等					その他						
実技試験を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する												
教育学部	文化・社会系	国語専攻	×	○	×	○	○	×	×	6名	実施しない	実施しない			
		社会専攻	×	○	×	○	○	×	×	5名					
		英語専攻	実施しない												
	自然・情報系	数学専攻	×	○	×	○	○	×	×	5名					
		理科専攻	×	○	×	○	○	×	×	4名					
		技術専攻	実施しない												
		音楽専攻	×	○	○	○	×	×	×	2名					
		美術専攻	×	○	○	○	×	×	×	2名					
	芸術・表現系	家政専攻	実施しない												
		保健体育専攻	×	○	×	○	○	×	×	5名					
		教育専攻	実施しない												
	教育人間科学系	教育心理専攻	実施しない												
		障害児教育専攻	×	○	×	○	○	×	×	4名					

平成28年度群馬大学入学者選抜方法等（特別入試）

(2/2)

学部・学科	選抜方法等	推薦入試 注1								推薦入試募集人員	アドミッション・オフィス(AO)入試 注2	帰国生・社会人等のための特別入試 注3			備考
		入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力試験を免除し調査書を主な資料として判定する										帰国生	中国引揚者等	社会人	
		個別学力検査等を免除し、大学入試センター試験を課する	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	実技試験等					その他						
実技試験を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する												
社会情報学部	社会情報学科	×	○	×	○	○	×	×	28名	実施しない	若干名	実施しない	若干名		
医学部	医学科	×	○	×	○	○	×	×	35名		若干名	実施しない			
	保健看護学専攻	看護学専攻	×	○	×	○	○	×	×		30名	若干名	実施しない	若干名	
		検査技術科学専攻	×	○	×	○	○	×	×		9名				
		理学療法学専攻	×	○	×	○	○	×	×		8名				
		作業療法学専攻	×	○	×	○	○	×	×		8名				
理工学部	化学・生物化学科	×	○	×	○	×	×	×	60名		2名	若干名	実施しない		
	機械知能システム理工学科	×	○	×	○	×	×	×	33名		4名				
	環境創生理工学科	×	○	×	○	×	×	×	28名		2名				
	電子情報理工学科	×	○	×	○	×	×	×	35名		5名				
	総合理工学科(フレックス制)	実施しない									実施しない				実施しない

注1 推薦入試については、37～48ページを参照してください。

注2 アドミッション・オフィス(AO)入試については、36ページを参照してください。

注3 帰国生・社会人等のための特別入試については、49～55ページを参照してください。

平成28年度 群馬大学入学者選抜（一般入試）

別表3

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成27年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等				
		教科	科目名等	教科等	科目名等			
教育学部 187人 前期 143 後期 44 〔5.9〕	学校教育 教員養成課程	文化・ 社会系 国語	前期 2月25日	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	その他 小論文 系共通試験（小論文）	から2		
			後期 3月12日	公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経			その他 面接	から1
			18人 前期 15 後期 3	前期 2月25日	数 数I, 数I・数A 数II, 数II・数B	ア 又は イ		
							後期 3月12日	理 ア, 物基, 化基, 生基, 地学から2 イ, 物, 化, 生, 地学から1
			文化・ 社会系 社会	前期 2月25日	英, 独, 仏, 中, 韓から1	その他 小論文 系共通試験（小論文）		
				後期 3月12日	〔5教科6科目又は5教科7科目〕 若しくは 〔6教科6科目又は6教科7科目〕		その他 面接	
		21人 前期 17 後期 4	前期 2月25日	英語	外 英語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニ ケーション英語Ⅱ、コミュニケーショ ン英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ。 なお、リスニングテストを含む)	その他 系共通試験（小論文）		から1
							後期 3月12日	

教育学部 文化・社会系注意事項

注1 大学入試センター試験の利用教科・科目について

- 「地理歴史」及び「公民」については、同一名称を含む科目（「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」等）を組み合わせず選択することはできません。
- 「数学」について、2科目受験している場合は、高得点の科目の成績を用います。
- 「理科」について、アとイを満たす場合は、高得点の成績を用います。また、イの中から2科目受験している場合、第1解答科目の成績を用います。

注2 個別学力検査等について

「小論文」については、次のとおりです。

- 評価に当たっては、次の三点を特に重視します。
 - 問題のテーマをよく理解し得たか。
 - 問題のテーマに関連した基礎的な知識を持っているか。
 - 記述に当たっての論理の運びが正しく、論旨が明快であるか。
- 出題の範囲は、特に限定しません。

注3 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について

- 大学入試センター試験の英語については、リスニングを含み、筆記とリスニングの合計点（250点満点）に0.8を掛け、200点満点に換算します。
- 面接（※印）は総合判定の資料とします。

の実施教科・科目等について

(1/9)

2段階 選抜	試験の区分	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										特別の選 抜方法等	
		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	系共通	実技	面接		配点 合計
推薦 外国人	センター試験	200	200		100	100	200					800	追加合格 欠員補充
	個別学力検査等						300	100			400		
	計	200	200		100	100	200	300	100		1200		
推薦 外国人	センター試験	200	200		100	100	200				800	追加合格 欠員補充	
	個別学力検査等								※				
	計	200	200		100	100	200			800			
推薦 外国人	センター試験	200	200		100	100	200				800	追加合格 欠員補充	
	個別学力検査等						300	100		400			
	計	200	200		100	100	200	300	100	1200			
外国人	センター試験	200	200		100	100	200				800	追加合格 欠員補充	
	個別学力検査等						300			400			
	計	200	200		100	100	500			1200			
外国人	センター試験	200	200		100	100	200				800	追加合格 欠員補充	
	個別学力検査等								※				
	計	200	200		100	100	200			800			

平成28年度 群馬大学入学者選抜（一般入試）

別表3

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成27年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
教育学部 187人 前期 143 後期 44 〔5.9〕	自然・ 情報系 数学 20人 前期 18 後期 2	前期 2月25日	国【必須】 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数 数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数Bから1	数	数I, 数II, 数III, 数A, 数B
		後期 3月12日	理 物, 化, 生, 地学から1 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科6科目〕	その他	系共通試験（小論文）
	自然・ 情報系 理科 22人 前期 17 後期 5	前期 2月25日	国【必須】 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数 数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数Bから1 理 ア, 物基, 化基, 生基, 地基から2 } 物, 化, 生, 地学から1 } イ, 物, 化, 生, 地学から2 } 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目又は5教科8科目〕	その他	小論文
		後期 3月12日	国【必須】 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数 数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数Bから1 理 物, 化, 生, 地学から1 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科6科目〕	その他	系共通試験（小論文）
自然・ 情報系 技術 11人 前期 7 後期 4	前期 2月25日	国【必須】 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数 数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数Bから1	数	数I, 数II, 数III, 数A, 数B	
		後期 3月12日	理 物, 化, 生, 地学から1 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科6科目〕	その他	系共通試験（小論文）

教育学部 自然・情報系注意事項

① 大学入試センター試験の利用教科・科目について

- 「地理歴史」及び「公民」については、同一名称を含む科目（「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」等）を組み合わせて選択することはできません。
- 「地理歴史」及び「公民」については、計2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
- 数学専攻における前期・後期、理科専攻における後期及び技術専攻における前期・後期の「理科」については、2科目受験している場合、第1解答科目の成績を用います。
- 理科専攻における前期の「理科」については、アの場合、同一名称を含む科目（「物理」と「物理基礎」等）を組み合わせて選択することはできません。

② 個別学力検査等について

「小論文」については、次のとおりです。

- 評価に当たっては、次の三点を特に重視します。
 - 問題のテーマをよく理解し得たか。
 - 問題のテーマに関連した基礎的な知識を持っているか。
 - 記述に当たっての論理の運びが正しく、論旨が明快であるか。
- 出題の範囲は、特に限定しません。

の実施教科・科目等について

(2/9)

2段階 選抜	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別の選 抜方法等
	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	系共通	実技	面接	
推薦 外国人 追加合格 欠員補充	センター試験	200	*100	*100	200	100	200					800
	個別学力検査等				300							300
	計	200	*100	*100	500	100	200					1100
追加合格 欠員補充	センター試験	200	*100	*100	300	200	200					1000
	個別学力検査等								200			200
	計	200	*100	*100	300	200	200		200			1200
推薦 外国人 追加合格 欠員補充	センター試験	200	*100	*100	200	400	200					1100
	個別学力検査等										300	300
	計	200	*100	*100	200	400	200	300				1400
追加合格 欠員補充	センター試験	200	*100	*100	300	200	200					1000
	個別学力検査等								200			200
	計	200	*100	*100	300	200	200		200			1200
外国人 追加合格 欠員補充	センター試験	200	*100	*100	200	100	200					800
	個別学力検査等				300							300
	計	200	*100	*100	500	100	200					1100
追加合格 欠員補充	センター試験	200	*100	*100	300	200	200					1000
	個別学力検査等								200			200
	計	200	*100	*100	300	200	200		200			1200

③ 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について

- 大学入試センター試験の英語については、リスニングを含み、筆記とリスニングの合計点（250点満点）に0.8を掛け、200点満点に換算します。
- 数学専攻、理科専攻、技術専攻における後期では、大学入試センター試験の「数学」について、傾斜配点（×1.5）を行います。
- 理科専攻における前期、数学専攻、理科専攻及び技術専攻における後期では、大学入試センター試験の「理科」について、傾斜配点（×2.0）を行います。
- 配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

平成28年度 群馬大学入学者選抜（一般入試）

別表3

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成27年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
教育学部 187人 前期 143 後期 44 〔5.9〕	前期 2月25日	国	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	その他	楽典に関する筆記試験 実技 系共通試験（小論文）
			公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経		
	後期 3月12日	数	数I, 数I・数A 数II, 数II・数B	その他	実技
			理 ア, 物基, 化基, 生基, 地基から2 イ, 物, 化, 生, 地学から1		
	前期 2月25日	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科5科目又は5教科6科目〕	その他	実技 系共通試験（小論文）
			美術		
後期 3月12日	その他		その他	実技	

教育学部 芸術・表現系注意事項

① 大学入試センター試験の利用教科・科目について

- 「地理歴史」及び「公民」については、同一名称を含む科目（「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」等）を組み合わせて選択することはできません。
- 「地理歴史」及び「公民」について、計2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
- 「数学」について、2科目受験している場合は、高得点の科目の成績を用います。
- 「理科」について、アとイを満たす場合は、高得点の成績を用います。また、イの中から2科目受験している場合、第1解答科目の成績を用います。

② 個別学力検査等について

- 音楽専攻の「楽典に関する筆記試験」については、音程、音階、和音、リズム、音符等に関する筆記試験を行います。
- 「実技」の試験内容については、別紙「音楽・美術・保健体育実技試験内容」（34・35ページ）を参照してください。
- 「小論文」については、次のとおりです。
 - ① 評価に当たっては、次の三点を特に重視します。
 - ・ 問題のテーマをよく理解し得たか。
 - ・ 問題のテーマに関連した基礎的な知識を持っているか。
 - ・ 記述に当たっての論理の運びが正しく、論旨が明快であるか。
 - ② 出題の範囲は、特に限定しません。

③ 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について

- 大学入試センター試験の英語については、リスニングを含み、筆記とリスニングの合計点(250点満点)に0.8を掛け、200点満点に換算します。
- 配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

の実施教科・科目等について

(3/9)

2段階 選 抜	試験の区分	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別の選 抜方法等	
		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	楽典	小論文	系共通	実技	面接		配点 合計
センター試験 個別学力検査等 計	センター試験	200	*100	*100	100	100	200						700	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
	個別学力検査等												450	
	計	200	*100	*100	100	100	200	90		100	260		1150	
センター試験 個別学力検査等 計	センター試験	200	*100	*100	100	100	200						700	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
	個別学力検査等										350		350	
	計	200	*100	*100	100	100	200				350		1050	
センター試験 個別学力検査等 計	センター試験	200	*100	*100	100	100	200						700	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
	個別学力検査等										100	300	400	
	計	200	*100	*100	100	100	200			100	300		1100	
センター試験 個別学力検査等 計	センター試験	200	*100	*100	100	100	200						700	追加合格 欠員補充
	個別学力検査等										350		350	
	計	200	*100	*100	100	100	200				350		1050	

平成28年度 群馬大学入学者選抜（一般入試）

別表3

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成27年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等		
教育学部 187人 前期 143 後期 44 〔5.9〕	生活・健康系 家政 15人 前期 11 後期 4	前期 2月25日	国【必須】	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I, 数I・数A 数II, 数II・数B	その他	小論文 系共通試験（小論文）	
			地歴				から2
			公民				
	生活・健康系 保健体育 15人 前期 12 後期 3	後期 3月12日	数	ア, 物基, 化基, 生基, 地基から2 イ, 物, 化, 生, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1	その他	小論文	
			理				から1
			外				
生活・健康系 保健体育 15人 前期 12 後期 3	前期 2月25日	国	5教科6科目又は5教科7科目 若しくは 6教科6科目又は6教科7科目	その他	実技 系共通試験（小論文）		
		地歴					
		公民					
生活・健康系 保健体育 15人 前期 12 後期 3	後期 3月12日	数	5教科6科目又は5教科7科目 若しくは 6教科6科目又は6教科7科目	その他	保健体育に関する筆記試験 実技		
		理					
		外					

教育学部 生活・健康系注意事項

注1 大学入試センター試験の利用教科・科目について

- 「地理歴史」及び「公民」については、同一名称を含む科目（「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」等）を組み合わせることはできません。
- 「数学」について、2科目受験している場合は、高得点の科目の成績を用います。
- 「理科」について、アとイを満たす場合は、高得点の成績を用います。また、イの中から2科目受験している場合、第1解答科目の成績を用います。

注2 個別学力検査等について

- 「実技」の試験内容については、別紙「音楽・美術・保健体育実技試験内容」（34・35ページ）を参照してください。
- 「小論文」については、次のとおりです。
 - 評価に当たっては、次の三点を特に重視します。
 - 問題のテーマをよく理解し得たか。
 - 問題のテーマに関連した基礎的な知識を持っているか。
 - 記述に当たっての論理の運びが正しく、論旨が明快であるか。
 - 出題の範囲は、特に限定しません。

注3 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について

- 大学入試センター試験の英語については、リスニングを含み、筆記とリスニングの合計点（250点満点）に0.8を掛け、200点満点に換算します。
- 家政専攻、保健体育専攻における前期及び後期では、大学入試センター試験の「理科」について、傾斜配点（×2.0）を行います。

の実施教科・科目等について

(4/9)

2段階 選 抜	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別の選 抜方法等			
	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	保健 体育	小論文	系共通	実技		面接	配点 合計	
センター試験 個別学力検査等 計	センター試験	200	200		100	200	200						900	外国人 追加合格 欠員補充	
	個別学力検査等								400	100			500		
	計	200	200		100	200	200		400	100			1400		
センター試験 個別学力検査等 計	センター試験	200	200		100	200	200						900		推薦 外国人 追加合格 欠員補充
	個別学力検査等								150				150		
	計	200	200		100	200	200		150				1050		
センター試験 個別学力検査等 計	センター試験	200	200		100	200	200						900	推薦 外国人 追加合格 欠員補充	
	個別学力検査等									100	400		500		
	計	200	200		100	200	200			100	400		1400		
センター試験 個別学力検査等 計	センター試験	200	200		100	200	200						900		推薦 外国人 追加合格 欠員補充
	個別学力検査等										100		150		
	計	200	200		100	200	200		50		100		1050		

平成28年度 群馬大学入学者選抜（一般入試）

別表3

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成27年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等		
教育学部 187人 前期 143 後期 44 〔5.9〕	教育人間科学系 24人 前期 16 後期 8 (おおむね教育3名、障害児教育10名を目安とします。)	前期 2月25日	国	国【必須】	その他	系共通試験（小論文）	
			地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B			から2
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経			
		後期 3月12日	数	数I, 数I・数A 数II, 数II・数B	から1		
			理	ア. 物基, 化基, 生基, 地基から2 イ. 物, 化, 生, 地学から1	ア又はイ		
			外	英, 独, 仏, 中, 韓から1			
	障害児教育	前期 2月25日	その他	系共通試験（小論文）	その他	面接	
			その他	系共通試験（小論文）			5教科6科目又は5教科7科目 若しくは 6教科6科目又は6教科7科目
			その他	面接			
		後期 3月12日	その他	系共通試験（小論文）	その他	面接	
			その他	系共通試験（小論文）			
			その他	面接			

教育学部 教育人間科学系注意事項

① 大学入試センター試験の利用教科・科目について

- 「地理歴史」及び「公民」については、同一名称を含む科目（「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」等）を組み合わせず選択することはできません。
- 「数学」について、2科目受験している場合は、高得点の科目の成績を用います。
- 「理科」について、アとイを満たす場合は、高得点の成績を用います。また、イの中から2科目受験している場合、第1解答科目の成績を用います。

② 個別学力検査等について

「小論文」については、次のとおりです。

- 評価に当たっては、次の三点を特に重視します。
 - 問題のテーマをよく理解し得たか。
 - 問題のテーマに関連した基礎的な知識を持っているか。
 - 記述に当たっての論理の運びが正しく、論旨が明快であるか。
- 出題の範囲は、特に限定しません。

③ 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について

- 大学入試センター試験の英語については、リスニングを含み、筆記とリスニングの合計点（250点満点）に0.8を掛け、200点満点に換算します。
- 面接（※印）は総合判定の資料とします。

の実施教科・科目等について

(5/9)

2段階 選 抜	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別の選 抜方法等
	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	系共通	実技	面接	
外国人 追加合格 欠員補充	センター試験	200	200		100	100	200					800
	個別学力検査等								300			300
	計	200	200		100	100	200		300			1100
外国人 追加合格 欠員補充	センター試験	200	200		100	100	200					800
	個別学力検査等									※		
	計	200	200		100	100	200					800
外国人 追加合格 欠員補充	センター試験	200	200		100	100	200					800
	個別学力検査等								300			300
	計	200	200		100	100	200		300			1100
推薦 外国人 追加合格 欠員補充	センター試験	200	200		100	100	200					800
	個別学力検査等									※		
	計	200	200		100	100	200					800

平成28年度 群馬大学入学者選抜（一般入試）

別表3

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成27年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等	
		※教科	科目名等	教科等	科目名等
社会情報学部 72人 前期 56 後期 16 〔3.4〕	社会情報学科 前期 2月25日	a	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, }から2 地理A, 地理B	数 外	数学(数Ⅰ, 数Ⅱ, 数A, 数B) 英語(コミュニケーション英語 基礎, コミュニケーション英語 Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英 語表現Ⅰ, 英語表現Ⅱ)
			数 理 外		
	後期 3月12日	b	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, }から1 地理A, 地理B	その他	小論文
			公民 数 理 外		
		c	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, }から1 地理A, 地理B		
			公民 数 理 外		

※ 大学入試センター試験の利用教科・科目は、前期・後期ともa～cのいずれかの型になります。

社会情報学部注意事項

① 大学入試センター試験の利用教科・科目について

- 「地理歴史」及び「公民」については、同一名称を含む科目（「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」等）を組み合わせることはできません。
- 理科の「基礎を付した科目」を利用する場合は、任意の2科目を必ず選択解答してください。（「基礎を付した科目」を1科目のみ選択することはできません。）
- 理科については、cのウの場合、同一名称を付した科目（「物理」と「物理基礎」等）を選択することができます。
- 「地理歴史」、「公民」及び「理科」について、a～cの型を超えて受験した場合は、以下の取扱いとします。
 - 「地理歴史」、「公民」から2科目、「理科」の「物基、化基、生基、地基」及び「物、化、生、地学」を受験している場合は、「地理歴史及び公民の第1解答科目」の成績及び「地理歴史及び公民の第2解答科目」、「物基、化基、生基、地基」、「物、化、生、地学」のうち「高得点の2科目（ただし、「物基、化基、生基、地基」は2科目の合計点を1科目として取扱う）」の成績を用います。
 - 「地理歴史」、「公民」から2科目及び「理科」の「物、化、生、地学」から2科目を受験している場合は、「地理歴史及び公民の第1解答科目」の成績、「理科の第1解答科目」の成績及び「他の2科目のうち高得点の科目」の成績を用います。
- 「数学」の「工業数理基礎」を選択できる者は、旧教育課程履修者に限ります。

② 個別学力検査等について

「小論文」については、広く現代社会に関する諸問題への関心度と理解度をみるとともに、勉学に必要な長文読解力、論理的思考力、文章表現力等を試します。

③ 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について

- 大学入試センター試験の英語については、リスニングを含み、筆記とリスニングの合計点(250点満点)に0.8を掛け、200点満点に換算します。
- 前期日程個別学力検査について、2教科とも受験している場合は、高得点の教科の成績を用います。また、数学及び英語の得点は素点としますが、得点調整を行うことがあります。
- 配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

の実施教科・科目等について

(6/9)

2段階 選 抜	試験の区分	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										特別の選 抜方法等
		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点 合計	
センター試験	センター試験	200	*200	200	*100	200					900	推薦 帰国生 社会人 外国人
	個別学力検査等			*400		*400					400	
計	計	200	*200	200	*100	200					1300	
			*100	*400	*200	*400						
	センター試験	200	*200	200	*100	200					900	
計	計	200	*200				400				400	
			*100	200	*100	200	400	1300				
	センター試験	200	*200	200	*100	200	400				1300	
計	計	200	*200	200	*100	200	400				1300	
			*100	*200								

平成28年度 群馬大学入学者選抜（一般入試）

別表3

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成27年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
医学部 医学科 73人 前期 73 〔3.8〕	前期 2月25日 2月26日	国 地歴 公民 数 理外	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B【必須】 物, 化, 生から2 英, 独, 仏から1 〔5教科7科目〕	数 理 その他	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ, 数A, 数B 物基, 物, 化基, 化 小論文(理系と英語の能力を問うことが ある) 面接
医学部 保健学科 105人 前期 71 後期 34 〔4.4〕	看護学専攻 50人 前期 33 後期 17	前期	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B, 簿, 情報, 工から1 物, 化, 生から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	その他	小論文Ⅰ(英語の能力を問うことがある) 小論文Ⅱ(理系の能力を問うことがある)
		後期		その他	小論文Ⅰ(国語と英語の能力を問うこと がある) 小論文Ⅱ(理系の能力を問うことがある)
	検査技術科学専攻 31人 前期 22 後期 9	前期	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B, 簿, 情報, 工から1 物, 化, 生から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	その他	小論文Ⅰ(英語の能力を問うことがある) 小論文Ⅱ(理系の能力を問うことがある)
		後期		その他	小論文Ⅰ(国語と英語の能力を問うこと がある) 小論文Ⅱ(理系の能力を問うことがある)
	理学療法学専攻 12人 前期 8 後期 4	前期	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B, 簿, 情報, 工から1 物, 化, 生から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	その他	小論文Ⅰ(英語の能力を問うことがある) 小論文Ⅱ(理系の能力を問うことがある)
		後期		その他	小論文Ⅰ(国語と英語の能力を問うこと がある) 小論文Ⅱ(理系の能力を問うことがある)
	作業療法学専攻 12人 前期 8 後期 4	前期	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B, 簿, 情報, 工から1 物, 化, 生から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	その他	小論文Ⅰ(英語の能力を問うことがある) 小論文Ⅱ(理系の能力を問うことがある)
		後期		その他	小論文Ⅰ(国語と英語の能力を問うこと がある) 小論文Ⅱ(理系の能力を問うことがある)

医学部注意事項

- 〔注〕1 大学入試センター試験の利用教科・科目について
 (1) 「地理歴史」及び「公民」については、同一名称を含む科目(「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」等)を組み合わせて選択することはできません。
 (2) 「地理歴史」及び「公民」について、計2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
 〔注〕2 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について
 (1) 医学科は、大学入試センター試験の英語については、リスニングを含み、筆記(200点満点を180点に圧縮)とリスニング(50点満点を20点に圧縮)の合計点を200点満点に換算します。
 (2) 保健学科は、大学入試センター試験の英語については、リスニングを含み、筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計点に0.8を掛け、200点満点に換算します。

の実施教科・科目等について

(7/9)

2段階 選抜	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別の選 抜方法等
	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点 合計	
約3倍	センター試験	100	*50	*50	100	100	100				450	推薦 帰国生 外国人
	個別学力検査等				150	150		150		※	450	追加合格 欠員補充
	計	100	*50	*50	250	250	100	150			900	
	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	推薦 帰国生 社会人 外国人
	個別学力検査等							450			450	
	計	200	*100	*100	200	200	200	450			1350	
	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	追加合格 欠員補充
	個別学力検査等							450			450	
	計	200	*100	*100	200	200	200	450			1350	
	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	推薦 帰国生 社会人 外国人
	個別学力検査等							450			450	
	計	200	*100	*100	200	200	200	450			1350	
	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	追加合格 欠員補充
	個別学力検査等							450			450	
	計	200	*100	*100	200	200	200	450			1350	
	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	推薦 帰国生 社会人 外国人
	個別学力検査等							450			450	
	計	200	*100	*100	200	200	200	450			1350	
	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	追加合格 欠員補充
	個別学力検査等							450			450	
	計	200	*100	*100	200	200	200	450			1350	

- (3) 「数学」の「工業数理基礎」を選択できる者は、旧教育課程履修者に限ります。
 (4) 医学科の前期日程では、大学入試センター試験の各教科について、傾斜配点(×0.5)を行います。
 (5) 配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。
 (6) 面接(*印)は総合判定の資料とします。

平成28年度 群馬大学入学者選抜（一般入試）

別表3

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成27年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
理工学部 341人 前期 293 後期 48 〔3.1〕	化学・生 物化学科 前期 86 後期 12 2月25日	国	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B }から1 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B, 簿, 情報, 工から1 物, 化, 生, 地学から2	数 理	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ, 数A, 数B 「物基・物」 }から1 「化基・化」 } 「生基・生」 }
		外	英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニ ケーション英語Ⅱ、コミュニケーション 英語Ⅲ）	外	英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニ ケーション英語Ⅱ、コミュニケーション 英語Ⅲ）
	後期 3月12日	理 外	英【必須】 〔5教科7科目〕	その他	面接
	機械知能 システム 理工学科 前期 60 後期 13 2月25日	国	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B }から1 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数 数Ⅰ・数A【必須】 数Ⅱ・数B, 簿, 情報, 工から1 物, 化, 生, 地学から2	数 理	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ, 数A, 数B 「物基・物」 }から1 「化基・化」 } 「生基・生」 }
後期 3月12日	理 外	英【必須】 〔5教科7科目〕	その他	面接	

理工学部注意事項

① 大学入試センター試験の利用教科・科目について

- 「地理歴史」及び「公民」については、同一名称を含む科目（「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」等）を組み合わせて選択することはできません。
- 「地理歴史」及び「公民」について、計2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
- 「数学」の「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校でこれらの科目を履修した者及び、文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- 「数学」の「工業数理基礎」を選択できる者は、旧教育課程履修者のうち、高等学校でこの科目を履修した者及び、文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

② 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について

- 大学入試センター試験の英語については、リスニングを含み、筆記とリスニングの合計点（250点満点）に0.8を掛け、200点満点に換算します。
- 前期日程個別学力検査の理科の得点は素点としますが、得点調整を行うことがあります。
- 配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。
- 面接（※印）は総合判定の資料とします。

の実施教科・科目等について

(8/9)

2段階 選 抜	試験の区分	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										特別の選 抜方法等
		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点 合計	
センター試験	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	AO 推薦 帰国生 外国人 追加合格 欠員補充
	個別学力検査等				200	200	100				500	
	計	200	*100	*100	400	400	300				1400	
センター試験	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	追加合格 欠員補充
	個別学力検査等								※			
	計	200	*100	*100	200	200	200				900	
センター試験	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	追加合格 欠員補充
	個別学力検査等				200	200	100				500	
	計	200	*100	*100	400	400	300				1400	
センター試験	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	追加合格 欠員補充
	個別学力検査等								※			
	計	200	*100	*100	200	200	200				900	

平成28年度 群馬大学入学者選抜（一般入試）

別表3

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成27年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
理工学部 341人 前期 293 後期 48 〔3.1〕	環境創生 理工学科 前期 50 後期 10 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 簿, 情報, 工から1 物, 化, 生, 地学から2 英【必須】 〔5教科7科目〕	数	数I, 数II, 数III, 数A, 数B
				理	「物基, 物」から1
				外	英語（コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III）
	電子情報 理工学科 前期 70 後期 10 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 簿, 情報, 工から1 物, 化, 生, 地学から2 英【必須】 〔5教科7科目〕	数	数I, 数II, 数III, 数A, 数B
				理	「物基, 物」から1
				外	英語（コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III）
総合理工 学科 （フレックス 制） 前期 27 後期 3 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 簿, 情報, 工から1 物, 化, 生, 地学から2 英【必須】 〔5教科7科目〕	数	数I, 数II, 数III, 数A, 数B	
			理	「物基, 物」から1	
			外	英語（コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III）	
前期 27 後期 3 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 簿, 情報, 工から1 物, 化, 生, 地学から2 英【必須】 〔5教科7科目〕	その他	面接	
			その他	面接	
			その他	面接	

注) 注意事項が30ページに記載してありますので、参照してください。

の実施教科・科目等について

(9/9)

2段階 選 抜	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別の選 抜方法等
	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点 合計	
AO 推薦 帰国生 外国人	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	
	個別学力検査等				200	200	100				500	
	計	200	*100	*100	400	400	300				1400	
追加合格 欠員補充	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	
	個別学力検査等								※			
	計	200	*100	*100	200	200	200				900	
AO 推薦 帰国生 外国人	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	
	個別学力検査等				200	200	100				500	
	計	200	*100	*100	400	400	300				1400	
追加合格 欠員補充	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	
	個別学力検査等								※			
	計	200	*100	*100	200	200	200				900	
社会人 追加合格 欠員補充	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	
	個別学力検査等				200	200	100				500	
	計	200	*100	*100	400	400	300				1400	
追加合格 欠員補充	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	
	個別学力検査等								※			
	計	200	*100	*100	200	200	200				900	

〔別紙〕

音楽・美術・保健体育実技試験内容

〔Ⅰ〕音楽

○声楽試験と器楽試験を次のとおり行います。

○前期日程

1 声楽試験

次の(1)、(2)を演奏してください。

(1) コールユーブンゲン視唱

コールユーブンゲン 第1巻 (No.1～No.59) より当日1曲指定します。

【注】※ 以下の楽譜を参考にしてください (試験において使用する楽譜は本学で用意します)。

大阪開成館：『全訳コールユーブンゲン』

音楽之友社：『コールユーブンゲン 巻1』

全音楽譜出版社：『全訳コールユーブンゲン 1』

(2) 以下の歌曲の中から任意の1曲を原語により暗譜で演奏してください。

(a) Scarlatti, A.: Son tutta duolo 「私は悩みに満ちて」 (ト短調・イ短調)

(b) Paisiello, G.: Nel cor più non mi sento 「もはや私の心には感じない (うつろの心)」 (ヘ長調・ト長調)

(c) Bononcini, G.B.: Per la gloria d'adorarvi 「お前を賛える栄光のために」 (ヘ長調・ト長調)

【注】※ 1 調性を必ず選択してください。選択していないものは受け付けません。また、出願後の変更は認めません。

※ 2 伴奏者は本学で用意します。

※ 3 邦訳・調性は全音楽譜出版社『イタリア歌曲集1』によります。

2 器楽試験

選択課題

下記、(a)、(b)いずれかを選択してください。

(a) ピアノ

以下の①、②より各1曲を選び、2曲を演奏してください。演奏曲順は①-②とします。暗譜演奏で、繰り返しは省略してください。

① 任意の練習曲 (ただし以下の曲集より選んでください)。

Czerny: Etudes de Mécanisme Op.849 (ツェルニー30番練習曲)

Czerny: Schule der Geläufigkeit Op.299 (ツェルニー40番練習曲)

Cramer=Bülow: 60 Ausgewählte Etüden (クラマー=ビューロー60練習曲)

Moszkowski: Vingt petites études pour piano Op.91 (モシユコフスキー20の小練習曲)

【注】※ 「ツェルニー」を「チェルニー」と表記してある楽譜もあります。

② 任意の自由曲

(b) 管、弦、打楽器 (邦楽器を含む)

次の①、②を演奏してください。暗譜演奏で繰り返しは省略してください。

① 次の楽器の中から一つを選択し、中級程度以上の任意の楽曲又は練習曲を無伴奏で演奏してください (4分程度)。

管楽器: フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ

弦楽器: ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

打楽器: 小太鼓、マリンバ

邦楽器: 箏、三味線

【注】※ 使用する楽器は各自持参してください (マリンバは大学のもの [音域A～C 4½オクターヴ] を使用し、マレットは持参してください)。

② 任意の楽曲又は練習曲をピアノで演奏してください。

(注) 声楽試験及び器楽試験においては、演奏を途中で打ち切ることがあります。

○後期日程

1 声楽試験

前期日程試験と同じ課題

2 器楽試験

前期日程試験と同じ課題

(注) 声楽試験及び器楽試験においては、演奏を途中で打ち切ることがあります。

〔Ⅱ〕美術

○前期日程

木炭デッサン

・モチーフ、イーゼル、カルトン、木炭紙、定着液は本学で用意します。

・木炭、消具、下敷用木炭紙等は、受験者が持参してください。

・試験時間は5時間です。

○後期日程

鉛筆デッサン

・モチーフ、イーゼル、カルトン、描画用紙、定着液は本学で用意します。

・鉛筆、消具等は、受験者が持参してください。

・試験時間は5時間です。

〔Ⅲ〕保健体育

○前期日程

1. 基礎的運動能力に関する試験

2. スポーツ種目の技能に関する試験: 次のスポーツ種目から1種目を選択

体操競技 陸上競技 ダンス 柔道 剣道 水泳 テニス ソフトテニス バasketボール バレーボール

サッカー 野球 ソフトボール

※ 実技試験に必要な運動用具 (グラウンド用シューズ、体育館用シューズ及び選択するスポーツ種目に必要な服装・用具 (剣道防具、柔道着、スパイク等)) は、受験者が持参してください。

○後期日程

基礎的運動能力に関する試験

※ 実技試験に必要な運動用具 (グラウンド用シューズ及び体育館用シューズ) は、受験者が持参してください。

7. 特別入試

(1) アドミッション・オフィス（AO）入試

専門学科・総合学科特別入試（理工学部）

(1/1)

実施学部・学科名	理工学部	化学・生物化学科 機械知能システム理工学科 環境創生理工学科 電子情報理工学科
募集人員	(学科)	(募集人員)
	化学・生物化学科	2名
	機械知能システム理工学科	4名
	環境創生理工学科	2名
	電子情報理工学科	5名
出願資格	高等学校若しくは中等教育学校の、職業に関する学科又は総合学科を卒業した者、又は平成28年3月卒業見込みの者で、下記の要件を満たす者	
出願要件	<p>◎ 化学・生物化学科／環境創生理工学科／電子情報理工学科 次の(1)(2)を全て満たす者</p> <p>(1) 出身学校において職業に関する教科・科目(注)を20単位以上修得又は修得見込みの者</p> <p>(2) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注) 職業に関する教科・科目とは、農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉の各専門教科に属する科目に、「産業社会と人間」（これに準ずる学校設定教科・科目を含む。）を加えた教科・科目をいう。</p> <p>◎ 機械知能システム理工学科 次の(1)(2)を全て満たす者</p> <p>(1) 出身学校において工業又は情報に関する教科・科目を20単位以上修得又は修得見込みの者</p> <p>(2) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p>	
選抜方法	<p>第1次選抜（出願時提出書類による審査）と、第2次選抜（第1次選抜合格者に対して行う試験）の結果を総合して選抜します。</p> <p>第1次選抜 出願時に提出する下記書類により、志望学科での学修に対する適性・意欲を評価します。</p> <p>① 調査書</p> <p>② 志望理由書 「志望学科への進学を希望する理由」及び「大学卒業後の進路・将来の希望」について、記述してください。（大学指定様式。各400字程度、志願者自筆）</p> <p>③ 自己推薦書 これまでの活動や体験に基づいて、志望学科で勉強する適性と意欲を備えていることをアピールしてください。（大学指定様式。800字程度、志願者自筆） また、記載内容について客観的に証明できる資料がある場合は、3点以内（全体でA4用紙3枚以内）で添付してください（添付した資料は返却できませんので、原本を手元に残したい場合は、コピーを提出してください。）。</p> <p>証明資料の例：公的職業資格の資格証、検定試験の成績証、高大連携プログラムへの参加記録、理工学に関わるコンテスト・研究発表会等への参加・入賞記録、理工学に関わるクラブ活動記録など。</p> <p>第2次選抜 第1次選抜の合格者に対して、下記の試験等を実施し、基礎学力・勉学意欲・目的意識・表現力・コミュニケーション力・論理的思考力等を総合的に評価します。</p> <p>① 面接（全学科） 理工学教育を受けるための基礎能力に関する口頭試問を含みます。</p> <p>② 小論文（機械知能システム理工学科のみ） 課題は試験当日に提示します。</p> <p>③ プレゼンテーション（電子情報理工学科のみ） 電子情報技術関連のこれまでの優れた活動や電子情報技術利用の新しいアイデア等の自己PRを10分以内で行ってください。 プレゼンテーション用資料（片面印刷。図表を含めてA4用紙2枚以内で、資料が2枚の場合は1部ずつホチキスで留めること。）を5部作成し、試験当日に持参してください。プレゼンテーションに使用できる物は、上記の持参したプレゼンテーション用資料のみとします。ただし、補足説明が必要な場合に限り、本学で用意するホワイトボードに手書きで板書することを認めます。</p>	
出願期間	平成27年8月6日(木)から8月10日(月)	
選抜期日 (第2次選抜)	平成27年9月11日(金)	
合格者発表	第1次選抜	平成27年9月4日(金)
	第2次選抜	平成27年9月24日(木)
その他	アドミッション・オフィス（AO）入試（専門学科・総合学科特別入試）学生募集要項（入学願書付）の発表時期及び請求方法については、59・60ページを参照してください。	

(2) 推薦入試

推薦入試（教育学部）

(1/8)

実施学部 課程・専攻名	教育学部	学校教育教員養成課程・国語専攻
募集人員	6名	
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>1. 学習成績概評がAの者</p> <p>2. 学習成績概評がB以上で、国語の評定平均値が4.3以上の者</p>	
選抜方法	<p>出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。</p> <p>選考は、面接・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、志望理由書（志願者本人が自筆したもの））を総合して判定します。</p> <p>◎推薦書について 高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料（校内発表、校内表彰を除く）を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚程度）とします。 （活動歴の例） TOEIC、TOEFL等のスコア、ジュニアマイスター顕彰制度、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクールにおける発表実績、職業分野の資格検定試験、数学オリンピックや科学オリンピック等における成績、各種大会における入賞、教育委員会賞、コンクールやコンテストでの受賞歴、留学経験、社会貢献の表彰状等、論文・発表資料など</p>	
出願期間	平成27年11月1日(日)から11月5日(木)	
選抜期日	平成27年11月21日(土)	
合格者発表	平成27年12月4日(金)	
その他	推薦入試学生募集要項（入学願書付）の発表時期及び請求方法については、59・60ページを参照してください。	

推薦入試（教育学部）

(2/8)

実施学部 課程・専攻名	教育学部	学校教育教員養成課程・社会専攻
募集人員	5名	
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>1. 学習成績概評がAの者</p> <p>2. 学習成績概評がB以上で、地理歴史及び公民の全履修科目の評定平均値が4.3以上の者</p>	
選抜方法	<p>出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。</p> <p>選考は、面接・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書（志願者本人が自筆したもの））を総合して判定します。</p> <p>◎推薦書について</p> <p>高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料（校内発表、校内表彰を除く）を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚程度）とします。</p> <p>（活動歴の例）</p> <p>TOEIC、TOEFL等のスコア、ジュニアマイスター顕彰制度、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクールにおける発表実績、職業分野の資格検定試験、数学オリンピックや科学オリンピック等における成績、各種大会における入賞、教育委員会賞、コンクールやコンテストでの受賞歴、留学経験、社会貢献の表彰状等、論文・発表資料など</p>	
出願期間	平成27年11月1日(日)から11月5日(木)	
選抜期日	平成27年11月21日(土)	
合格者発表	平成27年12月4日(金)	
その他	推薦入試学生募集要項（入学願書付）の発表時期及び請求方法については、59・60ページを参照してください。	

推薦入試（教育学部）

(3/8)

実施学部 課程・専攻名	教育学部	学校教育教員養成課程・数学専攻
募集人員	5名	
出願要件	<p>次の各項に該当する者で、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>1. 数Ⅱ、数Ⅲ、数Bを履修（見込みを含みます）している者</p> <p>2. 学習成績概評がB以上で、数学の評定平均値が4.3以上の者</p>	
選抜方法	<p>出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。</p> <p>選考は、面接・小論文（主に数学的思考力を問う）及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書（志願者本人が自筆したもの））を総合して判定します。</p> <p>◎推薦書について</p> <p>高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料（校内発表、校内表彰を除く）を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚程度）とします。</p> <p>（活動歴の例）</p> <p>TOEIC、TOEFL等のスコア、ジュニアマイスター顕彰制度、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクールにおける発表実績、職業分野の資格検定試験、数学オリンピックや科学オリンピック等における成績、各種大会における入賞、教育委員会賞、コンクールやコンテストでの受賞歴、留学経験、社会貢献の表彰状等、論文・発表資料など</p>	
出願期間	平成27年11月1日(日)から11月5日(木)	
選抜期日	平成27年11月21日(土)	
合格者発表	平成27年12月4日(金)	
その他	推薦入試学生募集要項（入学願書付）の発表時期及び請求方法については、59・60ページを参照してください。	

推薦入試（教育学部）

(5/8)

推薦入試（教育学部）

(4/8)

実施学部 課程・専攻名	教育学部	学校教育教員養成課程・理科専攻
募集人員	4名	
出願要件	次の各項のいずれかに該当する者で、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者 1. 学習成績概評がAの者 2. 学習成績概評がBかつ理科の評定平均値が4.1以上の者で、物理、化学、生物、地学のうち1科目以上を履修した者又は履修見込みの者	
選抜方法	出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。 選考は、面接・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書（志願者本人が自筆したもの））を総合して判定します。 ◎推薦書について 高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料（校内発表、校内表彰を除く）を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚程度）とします。 （活動歴の例） TOEIC、TOEFL等のスコア、ジュニアマイスター顕彰制度、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクールにおける発表実績、職業分野の資格検定試験、数学オリンピックや科学オリンピック等における成績、各種大会における入賞、教育委員会賞、コンクールやコンテストでの受賞歴、留学経験、社会貢献の表彰状等、論文・発表資料など	
出願期間	平成27年11月1日(日)から11月5日(木)	
選抜期日	平成27年11月21日(土)	
合格者発表	平成27年12月4日(金)	
その他	推薦入試学生募集要項（入学願書付）の発表時期及び請求方法については、59・60ページを参照してください。	

実施学部 課程・専攻名	教育学部	学校教育教員養成課程・音楽専攻
募集人員	2名	
出願要件	次の各項のいずれかに該当する者で、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者 1. 学習成績概評がB以上の者 2. 音楽の評定平均値が4.0以上の者	
選抜方法	出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。 選考は、面接・実技試験及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書（志願者本人が自筆したもの））を総合して判定します。 ◎推薦書について 高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料（校内発表、校内表彰を除く）を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚程度）とします。 （活動歴の例） TOEIC、TOEFL等のスコア、ジュニアマイスター顕彰制度、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクールにおける発表実績、職業分野の資格検定試験、数学オリンピックや科学オリンピック等における成績、各種大会における入賞、教育委員会賞、コンクールやコンテストでの受賞歴、留学経験、社会貢献の表彰状等、論文・発表資料など	
実技試験内容	<p>○声楽試験と器楽試験を次のとおり行います。</p> <p>1. 声楽試験</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>次の(1)、(2)を演奏してください。</p> <p>(1) コールユーブンゲン 視唱 コールユーブンゲン 第1巻 (No.1～No.87) より当日1曲指定します。 【注】※ 以下の楽譜を参考にしてください（試験において使用する楽譜は本学で用意します）。 大阪開成館：『全訳コールユーブンゲン』 音楽之友社：『コールユーブンゲン 巻1』 全音楽譜出版社：『全訳コールユーブンゲン 1』</p> <p>(2) 以下の歌曲の中から任意の1曲を原語により暗譜で演奏してください。 (a) Scarlatti, A.: Son tutta duolo 「私は悩みに満ちて」（ト短調・イ短調） (b) Paisiello, G.: Nel cor più non mi sento 「もはや私の心には感じない（うつろの心）」（ヘ長調・ト長調） (c) Bononcini, G.B.: Per la gloria d'adorarvi 「お前を賛える栄光のために」（ヘ長調・ト長調） 【注】※1 調性を必ず選択してください。選択していないものは受け付けません。また、出願後の変更は認めません。 ※2 伴奏者は本学で用意します。 ※3 邦訳・調性は全音楽譜出版社『イタリア歌曲集1』によります。</p> </div> <p>2. 器楽試験</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>一般入試と同じ課題（34ページ参照）</p> </div> <p>（注）声楽試験及び器楽試験においては、演奏を途中で打ち切ることがあります。</p>	
出願期間	平成27年11月1日(日)から11月5日(木)	
選抜期日	平成27年11月21日(土)	
合格者発表	平成27年12月4日(金)	
その他	推薦入試学生募集要項（入学願書付）の発表時期及び請求方法については、59・60ページを参照してください。	

推薦入試（教育学部）

(6/8)

実施学部 課程・専攻名	教育学部	学校教育教員養成課程・美術専攻
募集人員	2名	
出願要件	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>1. 学習成績概評がB以上で、美術又は工芸の評定平均値が4.0以上の者</p> <p>2. 学習成績概評がB以上で、美術及び工芸並びにこれらに類する科目（素描、絵画、彫刻、ビジュアルデザイン、クラフトデザインなど）について計10単位以上修得又は修得見込みで、その評定平均値が3.5以上の者</p> <p>◎推薦書について 高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料（校内発表、校内表彰を除く）を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚程度）とします。 （活動歴の例） TOEIC、TOEFL等のスコア、ジュニアマイスター顕彰制度、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクールにおける発表実績、職業分野の資格検定試験、数学オリンピックや科学オリンピック等における成績、各種大会における入賞、教育委員会賞、コンクールやコンテストでの受賞歴、留学経験、社会貢献の表彰状等、論文・発表資料など</p>	
選抜方法	<p>出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。</p> <p>選考は、面接・実技試験及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書（志願者本人が自筆したもの）、作品制作証明書（※）、美術活動調査書、入選・入賞を確認できる書類（コピーでも可））を総合して判定します。</p> <p>※ 志願者本人が出身学校在籍中に制作した作品の写真（1作品につき写真1枚）を貼り付けて提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5点以内とする。 ・作品の分野は問わない。 	
実技試験内容	<p>用意された材料・用具を用いた立体造形物の制作、並びにそれをモチーフとする鉛筆素描。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素描のための鉛筆、消具等は、受験者が用意してください。 ・試験時間は、3時間です。 	
出願期間	平成27年11月1日(日)から11月5日(木)	
選抜期日	平成27年11月21日(土)	
合格者発表	平成27年12月4日(金)	
その他	推薦入試学生募集要項（入学願書付）の発表時期及び請求方法については、59・60ページを参照してください。	

推薦入試（教育学部）

(7/8)

実施学部 課程・専攻名	教育学部	学校教育教員養成課程・保健体育専攻
募集人員	5名	
出願要件	<p>出身学校1校につき1名とし、次の各項に該当する者で、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>1. 学習成績概評がB以上の者</p> <p>2. スポーツ活動の成績がブロック大会（例：関東大会など）出場以上の者</p>	
選抜方法	<p>出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。</p> <p>選考は、面接・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書（志願者本人が自筆したもの）、スポーツ活動調査書、競技成績を確認できる資料等（コピーでも可））を総合して判定します。</p> <p>◎推薦書について 高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料（校内発表、校内表彰を除く）を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚程度）とします。 （活動歴の例） TOEIC、TOEFL等のスコア、ジュニアマイスター顕彰制度、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクールにおける発表実績、職業分野の資格検定試験、数学オリンピックや科学オリンピック等における成績、各種大会における入賞、教育委員会賞、コンクールやコンテストでの受賞歴、留学経験、社会貢献の表彰状等、論文・発表資料など</p>	
出願期間	平成27年11月1日(日)から11月5日(木)	
選抜期日	平成27年11月21日(土)	
合格者発表	平成27年12月4日(金)	
その他	推薦入試学生募集要項（入学願書付）の発表時期及び請求方法については、59・60ページを参照してください。	

推薦入試（教育学部）

(8/8)

実施学部 課程・専攻名	教育学部	学校教育教員養成課程・障害児教育専攻
募集人員	4名	
出願要件	学習成績概評がB以上の者で、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者	
選抜方法	<p>出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。 選考は、面接・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書（志願者本人が自筆したもの））を総合して判定します。 ◎推薦書について 高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料（校内発表、校内表彰を除く）を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚程度）とします。 （活動歴の例） TOEIC、TOEFL等のスコア、ジュニアマイスター顕彰制度、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクールにおける発表実績、職業分野の資格検定試験、数学オリンピックや科学オリンピック等における成績、各種大会における入賞、教育委員会賞、コンクールやコンテストでの受賞歴、留学経験、社会貢献の表彰状等、論文・発表資料など</p>	
出願期間	平成27年11月1日(日)から11月5日(木)	
選抜期日	平成27年11月21日(土)	
合格者発表	平成27年12月4日(金)	
その他	推薦入試学生募集要項（入学願書付）の発表時期及び請求方法については、59・60ページを参照してください。	

推薦入試（社会情報学部）

実施学部・学科名	社会情報学部	社会情報学科
募集人員	28名	
出願要件	調査書の学習成績全体の評定平均値が4.0以上の者で、出身学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者	
選抜方法	<p>出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。 選考は、面接・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、志願理由書（志願者本人が自筆したもの））を総合して判定します。 ◎推薦書について 高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料（校内発表、校内表彰を除く）を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚程度）とします。 （活動歴の例） TOEIC、TOEFL等のスコア、ジュニアマイスター顕彰制度、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクールにおける発表実績、職業分野の資格検定試験、数学オリンピックや科学オリンピック等における成績、各種大会における入賞、教育委員会賞、コンクールやコンテストでの受賞歴、留学経験、社会貢献の表彰状等、論文・発表資料など</p>	
出願期間	平成27年11月1日(日)から11月5日(木)	
選抜期日	平成27年11月21日(土)	
合格者発表	平成27年12月4日(金)	
その他	推薦入試学生募集要項（入学願書付）の発表時期及び請求方法については、59・60ページを参照してください。	

推薦入試（医学部医学科）

実施学部・学科名	医 学 部	医学科						
募 集 人 員	35名							
出 願 要 件	<p>出身学校1校につき、一般枠と地域医療枠を合わせて5名以内とし、次の各項に該当する者</p> <p>1. 出身学校における調査書類、学習成績、適性評価等に優れ、かつ、調査書の学習成績概評がA段階に属し、人物も優れていて、学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>※ ④に該当する者については、調査書に④と表示してください。</p> <p>2. 出身学校において、数学については、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A及び数学Bのうち2科目以上、理科については、物理、化学及び生物のうち2科目以上を履修又は履修見込みの者</p> <p>3. 合格した場合は、入学することを確約できる者</p>							
選 抜 方 法	<p>出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。</p> <p>選考は、面接・小論文及び出願書類（調査書、推薦書、適性資質調査書、志願理由書（地域医療枠で出願する者のみ））を総合して判定します。</p> <p>下表出願区分のいずれで出願しても合格者の判定は同一の基準により実施します。</p> <p>なお、地域医療枠で出願した場合、合格者判定の結果、成績が募集人員内（35名）にあると判定され、成績順に決められる地域医療枠合格者（7名程度）よりも下位である場合は、一般枠として合格となります。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th colspan="2">出 願 区 分</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>「一般枠」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>「地域医療枠」</td> </tr> </table> <p>◎推薦書について</p> <p>高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料（校内発表、校内表彰を除く）を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚程度）とします。</p> <p>（活動歴の例）</p> <p>TOEIC、TOEFL等のスコア、ジュニアマイスター顕彰制度、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクールにおける発表実績、職業分野の資格検定試験、数学オリンピックや科学オリンピック等における成績、各種大会における入賞、教育委員会賞、コンクールやコンテストでの受賞歴、留学経験、社会貢献の表彰状等、論文・発表資料など</p>		出 願 区 分		1	「一般枠」	2	「地域医療枠」
出 願 区 分								
1	「一般枠」							
2	「地域医療枠」							
出 願 期 間	平成27年11月1日(日)から11月5日(木)							
選 抜 期 日	平成27年11月21日(土)、22日(日)							
合 格 者 発 表	平成27年12月4日(金)							
そ の 他	推薦入試学生募集要項（入学願書付）の発表時期及び請求方法については、59・60ページを参照してください。							

推薦入試（医学部保健学科）

実施学部・学科名	医 学 部	保健学科
募 集 人 員	(専 攻)	(募集人員)
	看護学専攻	30名
	検査技術科学専攻	9名
	理学療法学専攻	8名
	作業療法学専攻	8名
出 願 要 件	<p>次の各項に該当する者で、出身学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>1. 出身学校における学習成績、人物及び健康等に優れ、調査書の学習成績の全体の評定平均値が3.8以上の者</p> <p>2. 出身学校において、数学については、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A及び数学Bのうち2科目以上、理科については、物理、化学及び生物のうち2科目以上を履修又は履修見込みの者</p>	
選 抜 方 法	<p>出身学校長から推薦された者について、選考を行い合格者を決定します。</p> <p>選考は、面接、小論文Ⅰ（英語による出題）・小論文Ⅱ（文系の出題）・小論文Ⅲ（理系の出題）及び出願書類（調査書、推薦書）を総合して判定します。</p> <p>◎推薦書について</p> <p>高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料（校内発表、校内表彰を除く）を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚程度）とします。</p> <p>（活動歴の例）</p> <p>TOEIC、TOEFL等のスコア、ジュニアマイスター顕彰制度、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクールにおける発表実績、職業分野の資格検定試験、数学オリンピックや科学オリンピック等における成績、各種大会における入賞、教育委員会賞、コンクールやコンテストでの受賞歴、留学経験、社会貢献の表彰状等、論文・発表資料など</p>	
出 願 期 間	平成27年11月1日(日)から11月5日(木)	
選 抜 期 日	平成27年11月20日(金)、21日(土)	
合 格 者 発 表	平成27年12月4日(金)	
そ の 他	推薦入試学生募集要項（入学願書付）の発表時期及び請求方法については、59・60ページを参照してください。	

推薦入試（理工学部）

実施学部・学科名	理工学部	化学・生物化学科 機械知能システム理工学科 環境創生理工学科 電子情報理工学科
募集人員	(学 科)	(募集人員)
	化学・生物化学科	60名
	機械知能システム理工学科	33名
	環境創生理工学科	28名
	電子情報理工学科	35名
出 願 要 件	出身学校における成績が優れ、人物及び健康等について、学校長が責任をもって推薦できる者で、合格した場合は、入学することを確約できる者	
選 抜 方 法	以下の2項目を総合して判定します。 (1) 出願書類（調査書（評定平均値等）、推薦書） (2) 面接（理工学教育を受けるための基礎能力に関する口頭試問を含みます。） ◎推薦書について 高校在学中の「活動歴」がある場合、推薦書の「その他の特記事項」欄に記入し、その内容を確認できる資料（校内発表、校内表彰を除く）を提出してください。ただし、提出できる点数は、原則3点以内（特に様式は指定せず、コピーでよいが、全体でA4用紙3枚程度）とします。 （活動歴の例） TOEIC、TOEFL等のスコア、ジュニアマイスター顕彰制度、スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクールにおける発表実績、職業分野の資格検定試験、数学オリンピックや科学オリンピック等における成績、各種大会における入賞、教育委員会賞、コンクールやコンテストでの受賞歴、留学経験、社会貢献の表彰状等、論文・発表資料など	
出 願 期 間	平成27年11月1日(日)から11月5日(木)	
選 抜 期 日	平成27年11月19日(木)	
合 格 者 発 表	平成27年12月4日(金)	
そ の 他	推薦入試学生募集要項（入学願書付）の発表時期及び請求方法については、59・60ページを参照してください。	

(3) 帰国生入試

帰国生入試（社会情報学部）

実施学部・学科名	社会情報学部	社会情報学科
募 集 人 員	若干名	
出 願 要 件	日本国籍を有する者又は日本国に永住権を有する者で、外国に在住し外国の学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当する者 1. 外国及び日本において学校教育における12年の課程を、平成28年3月31日までに修了した者又は修了する見込みの者。ただし外国において、日本の高等学校に当たる在籍期間を含め継続して2年以上学校教育を受けており、修了から2年以内とします。 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして指定又は認定した在外教育施設に当該課程を含め継続して2年以上在籍し、平成28年3月31日までに当該課程若しくは高等学校の課程を修了した者又は修了する見込みの者。ただし、修了から2年以内とします。 3. 外国において、次の資格を平成26年（2014年）又は平成27年（2015年）に取得した者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格（ライフェを含む） (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格	
選 抜 方 法	選考は、日本語による小論文・面接・学力テスト（数学及び英語）及び出願書類を総合して判定します。	
出 願 期 間	平成27年11月1日(日)から11月5日(木)	
選 抜 期 日	平成27年11月21日(土)	
合 格 者 発 表	平成27年12月4日(金)	
そ の 他	帰国生入試学生募集要項（入学願書付）の発表時期及び請求方法については、59・60ページを参照してください。	

帰国生入試（医学部医学科）

実施学部・学科名	医 学 部	医 学 科
募 集 人 員	若干名	
出 願 要 件	<p>日本国籍を有する者又は日本国に永住権を有する者で、外国に在住し外国の学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国及び日本において学校教育における12年の課程を、平成28年3月31日までに修了した者又は修了する見込みの者。ただし外国において、日本の高等学校に当たる在籍期間を含め継続して2年以上学校教育を受けており、修了から2年以内とします。 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして指定又は認定した在外教育施設に当該課程を含め継続して2年以上在籍し、平成28年3月31日までに当該課程若しくは高等学校の課程を修了した者又は修了する見込みの者。ただし、修了から2年以内とします。 3. 外国において、次の資格を平成26年（2014年）又は平成27年（2015年）に取得した者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格（ライフェを含む） (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 	
選 抜 方 法	<p>選考は、数学、理科、小論文、面接及び出願書類を総合して判定します（大学入試センター試験は課しません）。</p> <p>なお、出願要件3の資格取得者（国際バカロレア資格等取得者）、TOEIC、TOEFL等の語学検定取得者は、出願時に成績・スコアを提出することにより総合判定の参考とします。</p>	
出 願 期 間	平成28年1月25日(月)から2月3日(水)	
選 抜 期 日	平成28年2月25日(木)、26日(金)	
合 格 者 発 表	平成28年3月7日(月)	
そ の 他	帰国生入試学生募集要項（入学願書付）の発表時期及び請求方法については、59・60ページを参照してください。	

帰国生入試（医学部保健学科）

実施学部・学科名	医 学 部	保 健 学 科
募 集 人 員	各専攻とも若干名	
出 願 要 件	<p>日本国籍を有する者又は日本国に永住権を有する者で、外国に在住し外国の学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国及び日本において学校教育における12年の課程を、平成28年3月31日までに修了した者又は修了する見込みの者。ただし外国において、日本の高等学校に当たる在籍期間を含め継続して2年以上学校教育を受けており、修了から2年以内とします。 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして指定又は認定した在外教育施設に当該課程を含め継続して2年以上在籍し、平成28年3月31日までに当該課程若しくは高等学校の課程を修了した者又は修了する見込みの者。ただし、修了から2年以内とします。 3. 外国において、次の資格を平成26年（2014年）又は平成27年（2015年）に取得した者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格（ライフェを含む） (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 	
選 抜 方 法	<p>選考は、小論文Ⅰ（英語による出題）・小論文Ⅱ（文系の出題）・小論文Ⅲ（理系の出題）、面接及び出願書類を総合して判定します。</p>	
出 願 期 間	平成27年11月1日(日)から11月5日(木)	
選 抜 期 日	平成27年11月20日(金)、21日(土)	
合 格 者 発 表	平成27年12月4日(金)	
そ の 他	帰国生入試学生募集要項（入学願書付）の発表時期及び請求方法については、59・60ページを参照してください。	

帰国生入試（理工学部）

実施学部・学科名	理工学部 化学・生物化学科 機械知能システム理工学科 環境創生理工学科 電子情報理工学科
募集人員	各学科とも若干名
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国に永住権を有する者で、外国に在住し外国の学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国及び日本において学校教育における12年の課程を、平成28年3月31日までに修了した者又は修了する見込みの者。ただし外国において、日本の高等学校に当たる在籍期間を含め継続して2年以上学校教育を受けており、修了から2年以内とします。 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして指定又は認定した在外教育施設に当該課程を含め継続して2年以上在籍し、平成28年3月31日までに当該課程若しくは高等学校の課程を修了した者又は修了する見込みの者。ただし、修了から2年以内とします。 3. 外国において、次の資格を平成26年（2014年）又は平成27年（2015年）に取得した者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格（ライフェを含む） (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
選抜方法	<p>以下の項目を総合して判定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 出願書類 (2) 面接（理工学教育を受けるための基礎能力に関する口頭試問を含みます。） (3) 【機械知能システム理工学科のみ】日本語による小論文（理工学教育を受けるための基礎能力に関することを含みます。）
出願期間	平成27年11月1日(日)から11月5日(木)
選抜期日	平成27年11月19日(木)
合格者発表	平成27年12月4日(金)
その他	帰国生入試学生募集要項（入学願書付）の発表時期及び請求方法については、59・60ページを参照してください。

(4) 社会人入試

社会人入試（社会情報学部）

実施学部・学科名	社会情報学部 社会情報学科
募集人員	若干名
出願要件	<p>次のいずれかに該当する者のうち、平成28年4月1日現在、社会人経験（家事・家業従事者を含みます。）5年以上を有する年齢23歳以上の者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者又は平成28年3月卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は平成28年3月修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（9ページ参照）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は平成28年3月31日までにこれに該当する見込みの者 <p>※ 学校教育法施行規則第150条第7号により本学への出願資格を得ようとする者は、「10. 入学資格審査について」（58ページ）を参照してください。</p>
選抜方法	選考は、小論文・面接・学力テスト（数学及び英語）及び出願書類を総合して判定します。
出願期間	平成27年11月1日(日)から11月5日(木)
選抜期日	平成27年11月21日(土)
合格者発表	平成27年12月4日(金)
その他	社会人入試学生募集要項（入学願書付）の発表時期及び請求方法については、59・60ページを参照してください。

社会人入試（医学部保健学科）

実施学部・学科名	医 学 部	保健学科
募 集 人 員	各専攻とも若干名	
出 願 要 件	<p>次のいずれかに該当する者のうち、平成28年4月1日現在、社会人経験（家事・家業従事者を含みます。）3年以上を有する年齢25歳以上の者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者又は平成28年3月卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は平成28年3月修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（9ページ参照）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は平成28年3月31日までにこれに該当する見込みの者 <p>※ 学校教育法施行規則第150条第7号により本学への出願資格を得ようとする者は、「10. 入学資格審査について」（58ページ）を参照してください。</p>	
選 抜 方 法	<p>選考は、小論文Ⅰ（英語による出題）・小論文Ⅱ（文系の出題）・小論文Ⅲ（理系の出題）、面接及び出願書類を総合して判定します。</p>	
出 願 期 間	平成27年11月1日(日)から11月5日(木)	
選 抜 期 日	平成27年11月20日(金)、21日(土)	
合 格 者 発 表	平成27年12月4日(金)	
そ の 他	<p>社会人入試学生募集要項（入学願書付）の発表時期及び請求方法については、59・60ページを参照してください。</p>	

社会人入試（理工学部）

実施学部・学科名	理 工 学 部	総合理工学科（フレックス制）
募 集 人 員	若干名	
出 願 要 件	<p>次のいずれかに該当する者のうち、平成28年4月1日現在、社会人経験（家事・家業従事者を含みます。）5年以上を有する年齢23歳以上の者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者又は平成28年3月卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は平成28年3月修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（9ページ参照）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は平成28年3月31日までにこれに該当する見込みの者 <p>※ 学校教育法施行規則第150条第7号により本学への出願資格を得ようとする者は、「10. 入学資格審査について」（58ページ）を参照してください。</p>	
選 抜 方 法	<p>以下の2項目を総合して判定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 出願書類 (2) 面接（理工学教育を受けるための基礎能力に関する口頭試問を含みます。） 	
出 願 期 間	平成27年11月1日(日)から11月5日(木)	
選 抜 期 日	平成27年11月19日(木)	
合 格 者 発 表	平成27年12月4日(金)	
そ の 他	<p>社会人入試学生募集要項（入学願書付）の発表時期及び請求方法については、59・60ページを参照してください。</p>	

8. 私費外国人留学生入試

実施学部・学科名	教育学部	社会情報学部	医学部		理工学部																																																												
			医学科	保健学科	化学・生物化学科 機械知能システム理工学科 環境創生理工学科 電子情報理工学科																																																												
募集人員	各専攻とも若干名	若干名	若干名	各専攻とも若干名	各学科とも若干名																																																												
出願要件	<p>次の全ての項に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 日本国籍を有しない者で、出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者又は有する見込みの者。ただし、日本国の永住許可を得ている者は除く。(注1) 次のいずれかに該当する者 <ol style="list-style-type: none"> 外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは平成28年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの(昭和56年文部省告示第153号) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格(ライフェを含む)を有する者、又はフランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの 外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国において設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)の認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者又は平成28年3月31日までに修了見込みの者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの(注2) 日本学生支援機構が行う「平成27年度(2015年度)日本留学試験(第1回又は第2回)」を、次とおり受験した者(注3)。理工学部においては、さらに、TOEFL-PBT、TOEFL-iBT、TOEFL-ITP(群馬大学で実施したもの)、TOEIC公開テスト、TOEIC-IP(群馬大学で実施したもの)及びIELTSのうちいずれか1つを平成26年1月以降に受験していること。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学部・学科・専攻名</th> <th rowspan="2">日本語</th> <th rowspan="2">数学</th> <th rowspan="2">総合科目</th> <th colspan="3">理科</th> <th rowspan="2">出題言語</th> </tr> <tr> <th>物理</th> <th>化学</th> <th>生物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教育学部 国語、社会、英語、音楽、美術、家政、保健体育、教育、教育心理、障害児教育</td> <td>○</td> <td>コース1</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>日本語</td> </tr> <tr> <td>教育学部 数学、理科、技術</td> <td>○</td> <td>コース2</td> <td>-</td> <td colspan="3">いずれか2科目選択</td> <td>日本語</td> </tr> <tr> <td>社会情報学部</td> <td>○</td> <td>コース1 又は コース2</td> <td>総合科目又は理科のいずれかを受験すること 理科受験の場合は、理科のうちいずれか2科目選択</td> <td colspan="3"></td> <td>日本語</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">医学部</td> <td>医学科</td> <td>○</td> <td>コース2</td> <td>-</td> <td colspan="3">いずれか2科目選択</td> <td>英語</td> </tr> <tr> <td>保健学科</td> <td>○</td> <td>コース2</td> <td>-</td> <td colspan="3">いずれか2科目選択</td> <td>日本語</td> </tr> <tr> <td>理工学部 化学・生物化学科 機械知能システム理工学科 環境創生理工学科 電子情報理工学科</td> <td>○</td> <td>コース2</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>日本語</td> </tr> </tbody> </table> <p>【私費外国人留学生入試注意事項】 (注1) 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校等(文部科学大臣が認定した在外教育施設を含む。)を卒業した者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜には出願できません。 (注2) 個別の入学資格審査により本学への出願資格を得ようとする者は、平成28年1月12日(火)までに次の問合せ先まで申し出て、所定の申請手続きを行い、認定を受ける必要があります。 問合せ先：群馬大学学務部学生受入課入学試験係 電話：027(220)7150 所在地：〒371-8510 前橋市荒牧町4-2 (注3) 平成27年度(2015年度)日本留学試験の第1回、第2回のいずれも受験している場合は、利用する成績は受験者が指定するどちらか一方となります。</p>					学部・学科・専攻名	日本語	数学	総合科目	理科			出題言語	物理	化学	生物	教育学部 国語、社会、英語、音楽、美術、家政、保健体育、教育、教育心理、障害児教育	○	コース1	○	-	-	-	日本語	教育学部 数学、理科、技術	○	コース2	-	いずれか2科目選択			日本語	社会情報学部	○	コース1 又は コース2	総合科目又は理科のいずれかを受験すること 理科受験の場合は、理科のうちいずれか2科目選択				日本語	医学部	医学科	○	コース2	-	いずれか2科目選択			英語	保健学科	○	コース2	-	いずれか2科目選択			日本語	理工学部 化学・生物化学科 機械知能システム理工学科 環境創生理工学科 電子情報理工学科	○	コース2	-	○	○	-	日本語
学部・学科・専攻名	日本語	数学	総合科目	理科						出題言語																																																							
				物理	化学	生物																																																											
教育学部 国語、社会、英語、音楽、美術、家政、保健体育、教育、教育心理、障害児教育	○	コース1	○	-	-	-	日本語																																																										
教育学部 数学、理科、技術	○	コース2	-	いずれか2科目選択			日本語																																																										
社会情報学部	○	コース1 又は コース2	総合科目又は理科のいずれかを受験すること 理科受験の場合は、理科のうちいずれか2科目選択				日本語																																																										
医学部	医学科	○	コース2	-	いずれか2科目選択			英語																																																									
	保健学科	○	コース2	-	いずれか2科目選択			日本語																																																									
理工学部 化学・生物化学科 機械知能システム理工学科 環境創生理工学科 電子情報理工学科	○	コース2	-	○	○	-	日本語																																																										

選抜方法	大学入試センター試験を免除し、下記の①～③を総合して判定します。																					
	① 日本学生支援機構が行う「平成27年度(2015年度)日本留学試験」の成績。理工学部においては、さらに、TOEFL-PBT、TOEFL-iBT、TOEFL-ITP(群馬大学で実施したもの)、TOEIC公開テスト、TOEIC-IP(群馬大学で実施したもの)、IELTSのうち平成26年1月以降に受験したいずれか1つの成績																					
	② 各学部で実施する個別学力検査等(次表のとおり)																					
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">学部・学科名</th> <th>個別学力検査等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">教育学部</td> <td>一般入試(前期日程)と同じ試験等</td> </tr> <tr> <td colspan="2">社会情報学部</td> <td>数学、英語及び面接</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">医学部</td> <td>医学科</td> <td>一般入試(前期日程)と同じ試験等</td> </tr> <tr> <td>保健学科</td> <td>一般入試(前期日程)と同じ試験等及び面接</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">理工学部</td> <td>化学・生物化学科</td> <td rowspan="4">面接</td> </tr> <tr> <td>機械知能システム理工学科</td> </tr> <tr> <td>環境創生理工学科</td> </tr> <tr> <td>電子情報理工学科</td> </tr> </tbody> </table>		学部・学科名		個別学力検査等	教育学部		一般入試(前期日程)と同じ試験等	社会情報学部		数学、英語及び面接	医学部	医学科	一般入試(前期日程)と同じ試験等	保健学科	一般入試(前期日程)と同じ試験等及び面接	理工学部	化学・生物化学科	面接	機械知能システム理工学科	環境創生理工学科	電子情報理工学科
学部・学科名		個別学力検査等																				
教育学部		一般入試(前期日程)と同じ試験等																				
社会情報学部		数学、英語及び面接																				
医学部	医学科	一般入試(前期日程)と同じ試験等																				
	保健学科	一般入試(前期日程)と同じ試験等及び面接																				
理工学部	化学・生物化学科	面接																				
	機械知能システム理工学科																					
	環境創生理工学科																					
	電子情報理工学科																					
③成績証明書																						
出願期間	平成28年1月25日(月)から2月3日(水)																					
選抜期日	各学部・学科の選抜期日は次表のとおりです。																					
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">学部・学科名</th> <th>選抜期日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">教育学部</td> <td>平成28年2月25日(木)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">社会情報学部</td> <td>平成28年2月25日(木)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">医学部</td> <td>医学科</td> <td>平成28年2月25日(木)・26日(金)</td> </tr> <tr> <td>保健学科</td> <td>平成28年2月25日(木)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">理工学部</td> <td>化学・生物化学科</td> <td rowspan="4">平成28年2月26日(金)</td> </tr> <tr> <td>機械知能システム理工学科</td> </tr> <tr> <td>環境創生理工学科</td> </tr> <tr> <td>電子情報理工学科</td> </tr> </tbody> </table>		学部・学科名		選抜期日	教育学部		平成28年2月25日(木)	社会情報学部		平成28年2月25日(木)	医学部	医学科	平成28年2月25日(木)・26日(金)	保健学科	平成28年2月25日(木)	理工学部	化学・生物化学科	平成28年2月26日(金)	機械知能システム理工学科	環境創生理工学科	電子情報理工学科
	学部・学科名		選抜期日																			
	教育学部		平成28年2月25日(木)																			
社会情報学部		平成28年2月25日(木)																				
医学部	医学科	平成28年2月25日(木)・26日(金)																				
	保健学科	平成28年2月25日(木)																				
理工学部	化学・生物化学科	平成28年2月26日(金)																				
	機械知能システム理工学科																					
	環境創生理工学科																					
	電子情報理工学科																					
合格者発表 平成28年3月7日(月)																						
その他	◎ 募集要項の発表時期については、59・60ページを参照してください。 ◎ 日本留学試験については、日本学生支援機構留学生事業部留学試験課へ照会してください。 〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 電話：03(6407)7457																					

- 備考 1. 教育学部卒業者は、所定の教育職員免許状を取得できます。
なお、教員募集の出願資格は各都道府県等によって異なるので、出願する都道府県等の教育委員会に問合せください。
2. 医学部医学科卒業には、医師国家試験の受験資格が与えられます。
3. 医学部保健学科卒業には、それぞれの専攻に対応した各国家試験の受験資格が与えられます。
4. 理工学部志願者のTOEFL-PBT、TOEFL-iBT、TOEFL-ITP、TOEIC公開テスト、TOEIC-IP及びIELTS試験の成績確認方法は、次表のとおりです。

対象	成績確認方法
TOEFL-PBT、TOEFL-iBTのスコア (平成26年1月以降に実施されたもの)	本人宛に送付されたスコア(Examinee Score Report)の原本とそのコピー1部(A4サイズ)を提出してください。原本は受験票とともに返送します。
TOEFL-ITPのスコア (平成26年1月以降に群馬大学が実施したものに限り)	群馬大学が実施したTOEFL-ITPテストのスコアカードの原本とそのコピー1部(A4サイズ)を提出してください。原本は受験票とともに返送します。
TOEIC公開テストのスコア (平成26年1月以降に実施されたもの)	Official Score Certificateの原本とそのコピー1部(A4サイズ)を提出してください。原本は受験票とともに返送します。
TOEIC-IPのスコア (平成26年1月以降に群馬大学が実施したものに限り)	群馬大学が実施したTOEIC-IPテストのScore Reportの原本とそのコピー1部(A4サイズ)を提出してください。原本は受験票とともに返送します。
IELTSのスコア (平成26年1月以降に実施されたもの)	本人宛に送付されたスコア(Test Report Form)の原本とそのコピー1部(A4サイズ)を提出してください。原本は受験票とともに返送します。

9. 障害等のある入学志願者との事前相談について

本学では障害等のある学生への修学支援を行っております。

障害等があって、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、あらかじめ本学と相談してください。

(1) 相談の時期

① 一般入試：平成28年1月18日（月）までとしますが、なるべく早い時期に相談してください。（私費外国人留学生入試を含みます。）

ただし、点字又は代筆による解答を希望する者は、平成27年11月13日（金）以前のできるだけ早い時期に相談してください。

② 特別入試：アドミッション・オフィス（AO）入試は平成27年7月31日（金）まで、推薦、帰国生及び社会人入試は平成27年10月9日（金）まで（医学部医学科の帰国生入試は平成28年1月18日（月）まで）としますが、なるべく早い時期に相談してください。（私費外国人留学生入試を除きます。）

(2) 相談の方法

本学所定の相談書に医師の診断書等必要書類を添付して提出してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

(3) 連絡先

群馬大学学務部学生受入課入学試験係 〒371-8510 前橋市荒牧町四丁目2番地 電話：027（220）7150

10. 入学資格審査について

一般入試及び社会人入試において、学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号（個別の入学資格審査）により本学への出願資格を得ようとする者は、本学の入学資格審査を受け認定を得る必要があります。

詳細については、本学ホームページ（<http://www.gunma-u.ac.jp/prospective>）の入試案内を参照するか、本学学生受入課（上記9. の(3)連絡先を参照のこと）へ問合せてください。

11. 注意事項

(1) 受験票

大学入試センターから送付される平成28年度大学入試センター試験受験票は、紛失したり汚損したりすることのないよう大切に保管し、本学の個別学力検査等の試験当日、本学受験票と一緒に必ず持参してください。

(2) 成績請求票

① 大学入試センターから送付される成績請求票は、本学の個別学力検査等の試験に出願する際に、他の出願書類とともに提出しなければなりません。したがって、個別学力検査等の試験の出願時まで、紛失したり汚損したりすることのないように大切に保管してください。

② 本学への出願には、志願する学部の日程区分に従い、「前期日程用」若しくは「後期日程用」を使用してください。

(3) 写真

本学への出願には、平成28年度大学入試センター試験の受験票に使用した写真と同じもの（タテ4cm×ヨコ3cm1枚）を使用するのが望ましいですが、紛失等やむを得ない場合は、出願前3か月以内に撮影したものを使用してください。

12. 入試過去問題の利用について

(1) 本学は「入試過去問題活用宣言」に参加しており、本学の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）を実現するために必要と認める範囲で、「入試過去問題活用宣言」参加大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。

(2) 入試過去問題を使用して出題する場合は、一部を改変することもあります。また、必ず使用するとは限りません。

(3) 入試過去問題を使用して出題した場合は、入試終了後に受験者に分かる形で使用過去問題を公表します。

(4) 「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しております。

<http://www.nyushikakomon.jp>

13. 募集要項の発表時期及び請求方法

(1) 発表時期

募集要項の種別	発表時期	備考
一般入試学生募集要項	9月中旬	入学願書付
私費外国人留学生入試	9月中旬	群馬大学ホームページで公開
アドミッション・オフィス（AO）入試学生募集要項	7月上旬	入学願書付
推薦入試学生募集要項	9月中旬	入学願書付
帰国生・社会人入試学生募集要項	9月中旬	入学願書付

(2) 請求方法

募集要項等は次のいずれかの方法により御請求ください。詳しくは、群馬大学ホームページ（受験生のみなさまへ）資料請求を御覧ください。

URL http://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm008/adm008_001

○ テレメールで請求する場合

パソコン、スマートフォン等又は自動音声応答電話の指示に従って請求してください。

インターネット（パソコン・携帯電話）	自動音声応答電話
URL http://telemail.jp	IP電話 050-8601-0101 ※ IP電話への通話料金は、一般電話回線からは日本全国どこからでも3分毎に約11円です。
携帯電話で右のコードを読み取ってアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要です。 	

・請求してから2～3日程度で資料が届きます。ただし、発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。

・受付日時や地域、配達事情によっては、お届けまで4日以上かかる場合があります。また、発送開始日の変更になる可能性もあります。5日以上経っても資料が届かない場合には、下記テレメールカスタマーセンターへお問合せください。

・送料は、資料に同封されている支払い方法に従ってお支払いください。なお、送料の他に手数料が別途必要になります。また、送料は資料の重量変更により変更になる場合があります。

・自動音声応答電話による請求の場合、住所・氏名の登録時は、ゆっくりはっきりとお話してください。録音された音声の不鮮明な場合は、電話で住所・氏名を確認することがありますので、電話番号を必ず御登録ください。

・資料がなくなり、早期終了する場合があります。

・一般入試学生募集要項は、群馬大学ホームページからの請求に限り、通常受付終了後でも引き続きテレメール速達対応（レターパック）にて請求受付を行います。

【通常受付期限】平成28年1月28日（木）正午まで

【速達対応受付期限】平成28年1月31日（日）正午まで

テレメールでの請求に関する問合せ先
株式会社フロムページ「テレメールカスタマーセンター」
IP電話：050-8601-0102（9時30分～18時）

○ 資料請求サイト「モバっちょ」で請求する場合

パソコン、スマートフォン等から「モバっちょ」にアクセスして、指示に従って請求してください。

URL <http://djic-mb.jp/gunma-u3/> からアクセスしてください。

コードリーダー機能のあるスマートフォン等をお持ちの方は、右のコードを読み取ってアクセスできます。



「モバっちょ」での請求に関する問合せ先
大学情報センター株式会社「モバっちょカスタマーセンター」
電話：050-3540-5005（平日 10 時～18 時）

14. 平成28年度群馬大学一般入試の志願状況等の発表

以下の Web サイトを通じて、志願状況等の発表を予定しています。

情報の内容	Web サイト	期間
志願者数・志願倍率	群馬大学ホームページ（入試案内） URL http://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm003/g2123	願書受付期間中更新 （確定値） 平成28年2月5日（金） （13時）
欠員補充第2次募集実施の有無	群馬大学ホームページ（大学からのお知らせ） URL http://www.gunma-u.ac.jp	平成28年3月28日（月） 以降